

顯名鈔略

特36

786

256

47

017757-000-9

特36-786

顯名鈔略述

吉谷 覺寿/著

M 40.7

ABF-0673



講師吉谷覺壽撰

顯名鈔略述全

京都書林

西村護法館發行

特36
786

顯名鈔略述

講師 一乘院覺壽撰

明治

7 25



抑此顯名鈔ハ存覺上人ノ選述ニシテ其所明ノ法門ハ初三界六道
ノ善相ヲ明レテ之ヲ厭離シ速ニ生死出離ノ要道ヲ求ムヘキコトヲ
勸メ次ニ廣ク彌陀ノ名號ノ勝益ヲ明シ光壽無量ノ徳用ヲ示シ後ニ
問答ヲ設ケテ疑難ヲ通釋シタマヘリ之ニ由リテ一家ノ學者之ヲ研
尋セズンハアルヘカラス

今將釋此鈔略開四門 一者興由 二者大意 三者釋題 四者

本文 一者興由トハ此中通別ノ二義アリ 初二通ノ興由トハ三經

文類略述ノ如シ 次ニ別ノ興由トハ此顯名鈔ハ何ノ爲ニ之ヲ造リ

タマフヤ謂ク爲示一向專修本意故コレハ書ヲ讀ムニハ須ラク作

者ノ時代ヲ知ルヘシト云カ如ク此鈔製作ノ年代ヲ按スルニ今鈔奥

書ニ依レハ明光大徳ノ所望ニ依リテ建武四年八月備後國ニ於テ染筆シタマヘルナリ(存覺上人一期記ニハ曆應元年選述トアリ)是ハ何ノ爲ニ備後國ニ留錫セラレタルカト云ニ一期記存師四十九歳ノ下ニ曆應元年二月於備後國府守護前與法華宗(存覺上人鑒古錄ニハ日蓮派トアリ)對決了御門弟依望申忘其憚改名字號悟一出對了法華宗屈仍當方彌繁昌トアリ是ニ由リテ之ヲ觀レハ此鈔選述ノ興由タルヤ彼ノ日蓮宗ノ徒暴言ヲ吐キテ念佛無間ト唱フルニ對シテ彌陀ノ本願念佛ノ勝益ヲ顯シ一向專修ノ本意三界ノ生死ヲ解脱シ涅槃畢竟ノ常樂ヲ證スルニアルコトヲ明サンカ爲ナリ若レ汎ク之ヲ云ヘハ存師御時代ノ妨難ノアリサマハ御同作ノ破邪顯正鈔等ニ出ルカ如ク一向專修念佛トイフハ佛法ニアラス外道ノ法ナルニヨリテコレヲ停止セラルヘシト云ヒ法華眞言等ノ大乘ヲモテ

雜行ト稱スル條シカルヘカラスト云等ノ種々ノ妨難アリ此等ノ難ヲ防キテ三界ノ生死ヲ出離スルニハ教門マナクナリトイヘトモ唯彌陀ノ一教淨土ノ一門ノミ末代相應ノ要行凡夫出離ノ直道ニシテ而モ現當ノ兩益アリ萬徳悉ク念佛ノ一行ニ攝在スルカ故ニモロクノ雜行ヲ閑キテ之ヲ修シ安養ノ證果ヲ期スルヲ以テ一向專修ノ本意トスル趣キヲ示サンカ爲ニ此鈔ヲ製作シタマヘルナリ故ニ此鈔九四ニコレヲ一向專修ノ人トナツケコレヲ決定往生ノ機トスト結ヒテアリ知ルヘシ

二者大意トハ此鈔一部始終ニ明ストコロノ所詮ノ義理ヲ該括スレハ名號ノ勝益ヲ明スヲ以テ大意トス其故ハ題ハ一部ノ總標ナレハ一部所明ノ法門ハ題號ニ就テ知ルヘシ既ニ顯名鈔ト題スルヨリ見レハ一部始終ニ亘リテ明ス所ノ義理ハ名號ノ勝益ヲ顯スヨリ外ナ

シ其名號ノ勝益ヲ明スニ付キ初二三界六道ノ苦相ヲ明シ厭離欣求
ヲ勸メタマフハ願往生ノ心ヲ生セシメ念佛ノ一行ヲ受持セシメン
カ爲ノ弄引ナリ次ニ正シク名號ノ勝益ヲ明スニ至リテハ阿彌陀ノ
名義ヲ明シ經釋ノ明文ヲ引テ光壽ニ無量ノ功德利益ノ廣大無量ナ
ルコトヲ示シ如來ノ功德多シトイヘトモ光壽ノ二德ノ中ニ圓備シ
之ヲ攝スレハ名號ノ一行ノ外ナキコトヲ明シ此義ヲ成立スルニ付
キ種々ノ疑難アルカ故ニ四番ノ問答ヲ設ケテ舉難通釋シタマヘリ
爾レハ此鈔一部所詮ノ義理ハ名號ノ勝益ヲ明スニアリト云コト知
ルヘシ尙此鈔一部ノ所明文段ニ約スルノ大意ハ科文ニ就テ之ヲ心
得ヘシ

顯名鈔 三者釋題トハ一部所明ノ法義ヲ以テ題號ヲ立テタマヘリ
顯トハ顯示 名トハ名號ナリ此名ノ字ハ本文ニ引ク所ノ淨土論ノ

稱彼如來名ノ文ヨリ出ルト見ユル是ハ論註ノ釋ニ彼無尋光如來名
號トアルニテ知ルヘシ是レ彌陀ノ本願名號ノ勝益ヲ顯スノ書ナル
コトヲ示シテ顯名ト題シタマヘリ 鈔トハ唯信鈔文意略述ノ如シ
此三字ノ題號六合釋ノ作法ニ約セハ顯名之鈔ノ依主釋ナリ

オホヨソ三界ヤスキコトナシ六道ミナ苦ナリ無始生死ノウナ曠劫流
轉ノホトウケヌカタナモナクムマレヌトコロモナシ 四者本文ニ

初明厭苦求道ニ初示厭苦相ニ初總標 此鈔所明ノ體勢タルヤ名
號ノ勝益ヲ明サント欲シテ先初ニ三界ノ苦果ヲ厭離シ無上菩提ヲ
欣求スヘキコトヲ示ス其據ハ往生要集十門料簡ノ中第一厭離穢土
第二欣求淨土ノ文意ニ本ツキタマフト見ユ其中今ハ厭苦ノ相ヲ示
ス總標ノ文ナリ オホヨソ三界ヤスキコトナシトハ法華經科註ニ
上ニ四ノ三界無安猶如火宅トアリ三界トハ欲界色界無色界ナリ此

三界ヲ開ケハ六道トナルコト知ルヘシ 六道ミナ苦ナリトハ法華
 科註一下^四我以佛眼觀見六道衆生貧窮無福慧入生死險道相續
 苦不斷トアリ太子瑞應本起經上^十天上天下惟我爲尊三界皆苦吾
 當安之トアリ六道ノ中純苦處ト純樂處ト苦樂雜處トノ不同アレ
 トモ之ヲ無漏ノ樂ニ比スレハ都テ皆苦ト名クルナリ 無始生死ノ
 ウナトハ成實論五^七無始生死中何物不爲火所燒トアリ 曠劫流
 轉ノホトトハ玄義分ニ曠劫來流轉ト散善義ニ曠劫已來常沒常流轉
 トアリ ウケヌカタナモナクトハ正報ニ約シ ムマレヌトコロモ
 ナシトハ依報ニ約スル言ナリ

焦熱無間ノ苦患ニモシツミ鬼畜修羅ノ罪報ヲモエタリキアルヒハ欲
 界六天ノクモノアヒタニムマレテ五衰ノ退没ヲカナシムトキモアリ
 ケンアルヒハ色無色界ノカスミノウヘニアソヒテ上天ノ快樂ニホコ

ルコトモアリケンコレミナ身ニナヒテミツカラヘタルトコロナリ

二別明ニ 初略示五趣相ニ 初明五趣苦樂 六趣ノ中初二略シ

テ五趣ノ相ヲ明ス六趣ノコトハ往生要集及ヒ三界義法苑珠林名義
 集等ヲ見ルヘシ 焦熱無間トハ八大地獄ノ中二種ヲ擧テ餘ヲ攝ス
 ル意ナリ 鬼畜修羅トハ餓鬼畜生修羅ノ三趣ナリ アルヒハ欲界
 六天等トハ三界ノ諸天ヲ明ス欲界六天トハ四王忉利夜摩兜率化樂
 他化ナリ クモノアヒタトハ天ノ相ヲ示ス六欲天ノ中四王忉利ハ
 地居天夜摩以上ハ空居天ナリトイヘトモ今ハ總シテ雲ノ間ト云ナ
 リ 五衰退没ノコトハ往生要集ニ出ル委シク云ヘハ五衰ニ大小ノ
 不同アリ俱舍十^八見ルヘシ アルヒハ色無色界ノカスミノウヘニ
 アソヒテ等トハ略シテ上二界ノ相ヲ示シタマフ コレミナ身ニナヒ
 テミツカラヘタルトコロナリトハ鈔主自ラ過去ニ經歷シタル三界

六道ノ苦果ノ相ナリト結ヒタマヘリ

シカレトモ苦トイヒ樂トイヒ生ヲヘタテヌレハスナハナラヌレヌダ

、ワツカニ聖教ノ説ヲヒライテオモヒヤルハカリナリ 一示隔生

即忘 コレ所謂隔生則忘ノ相ナリ法華立義六之二四 + 名字觀行

隔生則忘トアリ 聖教ノ説トハ佛説ノユトニテ往生要集ニ諸經

ノ文ヲ引ク如ク是ハ無始流轉ノ間ニハ三界苦樂ノ生ヲ受ケタレト

モ隔生則忘スルカ故ニ唯佛説ヲ披閱シテ憶測スルノミト云コトナ

リ

ソノナカニ人界ノ依身ハ今生ニエタルスカタ當體ニウケタル報ナレ

ハ苦果ノアリサマ身ノウヘニオモヒシラレ無常ノカナシモマナコ

ノマヘニミエタリオモヒイレヌシテ世間ニノミ著シ後生ヲシラスシ

テムナシクスキンユトハクチオシカルヘキユトナリ 二廣明ニ人界

相ニ 初總明 ソノナカトハ三界六道ノ中ト云コトナリ 人界

ノ依身ハ今生ニエタルスカタ等トハ今正シク受得シタル現身ノ果

報ニ約シテ生死ノ苦果無常ノ悲哀眼前ニ明カナルユトヲ示シ此苦

果及ヒ無常ノ事實ヲ心中ニ思ヒ入レス世間ニ執著シ後生ノ大事ヲ

辨ヘスシテ空ク一生ヲ送ランユトハアサマシキユトナリト述ヘタ

マフ クチオントハ朽惜ノ文字ナリ俗ニハ口惜ト書ケリ

ユノ人間ニナヒテ増上ノ煩惱アリ三毒ヲモテ本トス難治ノ苦惱アリ

四苦ヲモテ最トス 二別明ニ 初示ニ三毒四苦ニ 初總標 人界ノ

相ヲ明スニ付キ流轉ノ因果ヲ顯スニ煩惱ト四苦ヲ擧ル具サニ流轉

ノ因果ヲ出ストキハ煩惱業苦ノ三道ナレトモ今ハ略シテ煩惱ト苦

ヲ擧テ業ヲ攝スル意ナリ増上トハ強盛ノ義ニテ煩惱ニ種々アレト

モ三毒ヲ以テ強盛トス 難治トハ對治シ難キユトニテ苦果ニ種々

アレトモ四苦ヲ以テ難治トス是レ三毒ハ煩惱ノ根本四苦ハ苦惱ノ最上ナリ

マツ三毒トイフハ貪欲瞋恚愚癡ナリ 一別釋二 初明三毒三 初標列 智論三十一註三毒爲一切煩惱之根本トアリ

貪欲トイフハイロニ著シタカラニフケルコ、ロナリ瞋恚トイフハイカリナシハラナツルコ、ロナリ愚癡トイフハ無明ニオホハレ正理ニマトヒタルコ、ロナリ 二隨釋四 初釋三毒相 三毒ノコト

ハ智論三十一註唯識論六三大乘義章五本四等ニ出ル 貪欲ヲ釋スルニイロニ著シタカラニフケルコ、ロトハ大經ニハ皆由貪著財

色不能施惠トアリ此貪ハ順境ニ起リ瞋ハ違境ハ起ルト云コト常ノ如シ 愚癡ハ貪瞋ノ本トナルコト次下ノ如シ 無明ト云ハ大乘

義章五本二癡闇之心體無慧明故曰無明トアリ 正理トハ因果ノ正道理ナリ

貪欲ヲ生シ瞋恚ヲナコスコトモソノミナモトナイヘハミナ愚癡ニリイテタリ 二明貪瞋本 是ハ唯識論六七諸煩惱生必由癡故トアリ

是レアラユル煩惱ハ三毒ニ生レ三毒ノ中愚癡ヲ以テ根本トスルナリ

八萬ノ塵勞サマクニワカレ一切ノ煩惱ソノカスオホケレトモ根本ヲタツメルニミナ三毒ニ生セリ 三示諸惑本 一切ノ煩惱ノ根

本ハ三毒ノ煩惱ナルコトヲ示ス智論十八若若說三毒當知已說一切諸煩惱毒乃至一切煩惱皆從三毒生トアリ 八萬ノ塵勞トハ八

萬四千ノ煩惱ナリ此八萬四千ノ煩惱ト云コトハ心地觀經七註義林章二本四三十述記五末五俱舍一二等ニ出ル此八萬四千ノ數ヘ方

ハ大乘義章六五ニ出ル近クハ真宗名目ニ三義ヲ出シテアリ其中

第一義ハ貪瞋癡ト等分ノ煩惱ニ各々二萬一千アリ合シテ八萬四千ノ數ヲ成スルナリ 之ヲ八萬ト云ハ大數ヲ擧ケタルモノナリ 塵勞トハ煩惱ノ異名ニテ圓覺經略疏鈔十一_三十塵勞者塵是六塵勞謂倦勞由塵成勞故曰塵勞又染心勤苦亦是塵勞トアリ此文二義ヲ以テ塵勞ヲ釋ス初義ハ依主釋ニテ塵ヲ所緣ノ境界トシ勞ヲ能緣ノ心トス後義ハ持業釋ニテ二字トモニ能緣ノ心ニ約ス塵トハ塵空ノ義ニテ所緣ノ境ニ依リテ能緣ノ心ヲ汚スト云コトナリ 一切ノ煩惱トハ小乘ニテハ百八ノ煩惱大乘ニテハ百二十八ノ煩惱ナリモシヒト毒ヲクヒヌレハスナハナ死スルカコトクコノ三ノ煩惱ヲナコセハカナラス三途ニオモムクカユヘニ三毒トナツク 四釋ニ三毒名ニ 初正名 是ハ毒ハ害毒ノ義ニシテ此三惑ヲ起セハ有情ヲ損害シテ三途ニ趣クカ故ナリ

マタコレヲナツケテ三縛トモイフ有情ヲ結縛シテ生死ヲイダササルカユヘナリ 二異名 此三惑ヲ三縛ト名クルコトハ俱舍二十一_三縛有三種一貪縛二瞋縛三癡縛トアリ三毒ノ煩惱ヲ以テ有情ヲ結縛シテ生死ヲ解脱セサラ令ルコトナリ

ツキニ四苦トイフハ生老病死ナリ 二明四苦ニ 初標列 四苦ノコトハ北本涅槃十二_五ニ出ル

生苦トイフハムマル、トキノ苦ナリ十月ノアヒタ三百餘日胎内ニ處シテ五位ヲへ血肉ニマシハリテ諸苦ヲウク月ミナ期イタリテノナハシメテムマル、トキ頭ヲサカサマニシ身ヲツ、メテイツ一切ノ骨節ツ、マリテノフルコトアタハスソノ苦痛ニヨリテ前生ノ事コトククワスル 二隨釋四 初生苦 此一段ハ法苑珠林八十六_初受報篇ヲ併セ見ルヘシ 十月ノアヒタ三百餘日胎内ニ處シテトハ報恩記本_七

ニハ十月ヲヘテ二百六十六日ヲ送ルトアリ此相違アルハ如何ト云
 ニ寶積經五十五阿二十八七日トアリ元照孟蘭盆經疏記上三阿難
 問經說識託母胎凡經三十八箇七日乃至計三十八箇七日總二百六
 十六日成九ヶ月トアリ是レ人ノ住胎ノ時節長短ノ不同アルニ
 リ大數ニ約シテ十月ト云ヘトモ日數ニ不同アリト見ヘタリ 胎内
 ノ五位ノコトハ報恩記本付俱舍論ニ依リテ釋シテアリ餘ノ文ハ知
 リ易シ

老苦トイフハ日月スミヤカニユキテサカシナルニハヒハヤクスクヤ
 マヒハトシテオヒテクハ、リカタチハ日ニシタカヒテオトロフカ、ミ
 ニウツルカケニムカヘハシラヌオキナニアヘルカトウタカロケヌキ
 ニミテルシラカチカツフレハゲサハキノフヨリモオホシナカラニハ
 クシテハルノヤチキニニタリチフリハヤクサメテチツノ夜チノユス

老少トモニ不定ナレトモオヒヌレハステニ死ニチカツクコトマコト
 ニコ、ロホソカルヘシ 二老苦 盛者必衰ノアリサマナリ カ、ミ
 ニウツルカケニムカヘハシラヌオキナニアヘルカトウタカヒトハ
 形容ノ衰ヘタルコトノ甚シキチ示ス ケヌキニミテルシラカチカ
 ソフレハゲサハキノフヨリモオホシトハ今朝ハ昨日ヨリモ白髮ノ
 増加シタルコトヲ明スケヌキトハ和名鈔十四釋名云蟻尼輒切攝
 也拔取毛髮也俗云計沼岐トアリ餘ノ文ハ知ルヘシ

病苦トイフハ人身ヲ成スルハ地水火風ノ四大ナリ四大コトニ百一ノ
 病アリアハスレハ四百四病ナリ一病タチマチニチコレハ五體コト
 ノクイタムヤマヒハコレ苦ノキハマリナリヤマヒハスナハチ死ノ
 因ナリタ、身心ヲ惱亂スルノミニアラスマダ佛法ノ修行チサマタク
 タレカコノ苦チイトハサラン 三病苦 四大不調ナレハ四百四病チ

生スルト云コトハ慧琳音義二十五叶地水火風名四大乃至一大不
調百一病生四大不調則四百四病トアリ ヤマヒハスナハテ死ノ因
ナリトハ止觀五之一二 十 病患是死因トアリ 佛法ノ修行ナサマタ
クトハ止觀五之一 十 病患境ニ出ルカ如シ

死苦トイフハ一期ノ報命ナカクツキテ當生ノ果報ニウツル一刹那ナ
リ水火風ノ三大ヲノク散壞シ壽煖識ノ三法ミナ捨離スルトキ百處
支節キリサクカコトシツ井ニイキタエマナコトナヌレハコレヲ野外
ニチクル花ノカホハセノエミチフクミシニハカニ無常ノカセニサソ
ハレ雲ノ鬢ノチサケアリシムナシク一夜ノ煙トノホリヌダカキモイ
ヤシキモコノ苦ノカル、コトナクカシユキモオロカナルモコノカナ
シミマヌカル、コトナシ 四死苦 一期ノ報命盡ル時四大分散スト
イヘトモ遺骸ノ存在スルハ地大ナルヲ以テ三大散壞シト云フ 壽

煖識ノ三法ミナ捨離スルトキト云ハ俱舍五九命根體即壽能持煖
及識壽煖及與識三法捨身時所捨身儷仆如木無思覺トアリ 百
處支節キリサクカコトシトハ所謂斷末摩ノ苦痛ナリ (末摩ハ梵語
此ニ支節ト譯ス 花ノカホハセノエミチフクミシ等トハ白骨ノ御
文思ヒ合スヘシ 大カキモイヤシキモコノ苦ノカル、コトナク等
トハ智論六十八 無常死力大一切無能免者トアリ

シツカニオモヘハタノシムヘキトコロニアラスツラノ案スレハ著
スヘキ生ニアラス 三結成 前來明ストコロノ三毒四苦ノ相ヲ思想
スレハ厭離スヘキ境界ナリト結成シタマフナリ
シシカルニアケテモクレテモ五欲ニマツハレテワレモ人モ生死ヲオ
ソル、コトナシ 二明著五欲境ニ 初述意 五欲ニマツハレテト
ハ五欲ノ境界ニ纏縛セラル、コトナシ欲トハ能緣ノ心ニ就ク言ニ

テ色等ノ五境ハ欲ニ非サレトモ五境ニ於テ貪欲ヲ起スカ故ニ五欲ト名クルナリ止觀四之二ニ^三阿^五欲者色聲香味觸乃至五塵非欲而其中有^味能生^{行人}貪欲之心故言^五欲トアルニテ知ルヘシ

五欲トイフハ色聲香味觸ノ境界ナリコノ五欲ニナヒテ想念シ趣向シ貪著シテ惡業ヲ現在ニタクハへ苦報ヲ來世ニウクルナリ 一正明

二 初總標 五欲ノ境界ニ執著シテ造業受果スルコトヲ明シタマフ此五欲ノ境ニ想念シ趣向シ等ノコトハ次下ニ釋スルカ如シ

マツ五欲ヲ想念ストイフハ人コトニコ、ロヲ欲境ニカケテ世ヲワタルハカリコトヲメクラシトカク思惟シサマ^クニ憶念スルナリ 二

別釋四 初釋^三想念五欲 コレハ各自ニ心ヲ五欲ノ境界ニ係ケテ處世ノ策ヲ回ラスコトナリ トカクトハ兎角ノ字ナリ東鑑ニハ左

右ノ二字ヲトカクト讀ミ日本紀ニハ取捨ノ二字ヲトカクト讀メリ

妄想分別シテ前後左右計度取捨スル意ナリ

ツキニ五欲ニ趣向ストイフハ思惟シテハリ案シシタ、メテノナマサシク手ヲオボシテソノ業ヲナスナリアシタニハ霜ヲハラヒテ君ニツカヘユフヘニハ星ヲイタ、キテワタクシニカヘルコレミナ名聞ノタメニ馳走シ利養ノタメニ辛苦スアルヒハ江海ニフチヲウカヘテ商賣ヲ能トシアルヒハ山野ニヒツメヲカリテ殺生ヲユト、スカクノユトクイトナミワシルユトタ、一期ノ身命ヲダスケンカタメナリモシソノユ、ロサシヲトケサルトキハ身心ヲナヤマスコト毒ノ箭ノムチニアタルカコトシコレ五欲ニ趣向スルアリサマナリ 一釋趣向五欲上ノ如ク五欲ノ境ヲ想念シテ之ヲ得ンカ爲ニ五欲ノ境ニ趣向シ馳求スルコトナリ序分義細在家者貪求五欲相續是常トアルカ如シソノ業トハ五欲ノ境ヲ自得セントスル所作ヲナスコトナリ ア

シタニハ霜ヲハラヒテトハ晨朝ノ相ナリ ユフヘニハ星ヲイダ、
 キトハ晚陰ノ相ナリ 馳走トハ東西ニ奔走スルコトナリ 江海ニ
 フチヲウカヘテ等トハ船舶ニ乗シテ利ヲ求ムルコトナリ 山野ニ
 ヒツメヲカリテトハ ヒツメトハ日本釋名ニ蹄ハフミツメナリ地
 ナフム爪ナリフミノ反ヒナリ是レ獸ノ總名ナリカリテトハ獵スル
 コトナリ カクノコトクイトナミワシルコト等トハ知^ルヘシ 毒
 ノ箭ノムチニアタルカコトシトハ六波羅密經三如^レ是苦惱猶^レ箭
 中^ニ心^トアリ

ツキニ五欲ニ貪著ストイフハステニソノ境界ヲエテノチコレヲ受用
 シコレニ愛著スルナリ金銀ノタカフチマヘニトリナラヘ五穀ノタク
 ハヘチクツニツミミテ、コレヲモテ妻子ヲハク、ミコレニチヒテ飽足
 スルコトナシ 三釋貪著五欲 上ノ如ク五欲ノ境ニ趣向シテ之ヲ

求メ得レハ之ヲ用ヒテ愛著スルコトナリ 五穀トハ黍菽麻麥稻ナ
 リ諸乘法數ニ出ル コレニチヒテ飽足スルコトナシトハ大經ニ貪
 求無厭トアル是レナリ

カヤウニ貪求スルホトニ一生ムナシクハセスキテ又三途ノ舊里ニカ
 ヘル十二因縁ノ流轉無明ヨリ老死ニイタリ二十五有ノ生死上界ヨリ
 マタ下界ニオツ三世ニ輪轉シテ片時モヤムコトナシタトヘハ車ノ庭
 ニメクルカコトシマタ鳥ノハヤシニアソフニニタリカタチツチノ主
 ナシ一所ニト、マラスダマレ井ツチノ家ナシステ、マダサリヌレハ
 アルヒハ阿鼻ノタキ、トナリテ洞然猛火ノホノホニユカレアルヒハ
 鬼畜ノ報ヲウケテ飢饉殘害ノカナシミナイタクコレスナハチ五欲ニ
 貪著スル罪業ノイダストコロナリ 四明來世苦報二 初正明 是
 ハ前來ノ所明ヲ承ケテ是クノ如ク五欲ノ境界ニ貪著シテ今世一生

ヲ徒ラニ送り又三途ニ退没スルハ自業自得ノ道理ナルコトヲ明シ
タマフ 十二因縁ノ流轉トハ十二因縁ハ三界生死流轉輪廻因果無
窮ニシテ斷絶ナキ相ナリ此十二因縁ニハ大小乘ノ所談差別アリテ
其所明ノ文處甚タ廣シ略シテ云ハ、大乘ニテハ唯識論ニ出ルカ如
ク十二因縁ヲ二世一重ト立テ、過去ノ十因現在ノ二果現在ノ十因
未來ノ二果ト分ツ近クハ百法問答鈔ニ釋スルカ如シ小乘ニテハ
俱舍論ニ出ルカ如ク三世兩重ト立テ、過去ノ二因現在ノ五果現在
ノ三因未來ノ二果ト分ツ近クハ七十五法ニ釋スルカ如シ 二十五
有トハ流轉輪廻ノ境界ナリ二十五有トハ四州四惡趣六欲梵天四禪
四空處無想五那含ナリ三界ヲ開ケハ二十五有トナルコト常ノ如シ
之ヲ有ト名クルハ迷ヒノ因果亡セサルカ故ニ有ト名クルナリ 上
界ヨリマダ下界ニオツトハ三界ノ中色無色界ヲ上界トシ欲界ヲ下

界トスルナリ 三世ニ輪轉シテ片時モヤムコトナシトハ十二因縁
連縛ノ相ナリ 此下兩喩アリ車ノ庭ニメクルトハ三界流轉ノ喩ナ
リ鳥ノ林ニアソフトハ不出三界ノ喩ナリ カダケツチノ主ナシト
ハ仁王經下ニ四非常ノ偈ニ形無常主神無常家形神尙離豈有國
耶トアリ アルヒハ阿鼻ノタキ、トナリテ等トハ往生要集阿鼻地
獄及ヒ餓鬼畜生ノ下ノ所明ヲ對照スヘシ

シカルニ世ノナラヒ人ノコ、ロカ、ル罪報ヲハカヘリミスマツシキ
ハマツシキニツケテ悌望ノオモヒタエストメルハトメルニツケテ染
著ノコ、ロツクルコトナシチカフモ著スルモトモニ妄心ナレハトメ
ルモマツシキモミナ惡道ニオモムクナケキテモアマリアリコレイカ
、セン 二結誠 前來ノ所明ヲ結ヒテ衆生ヲ誠メタマフ一段ナリ是
ハ大經ニ無尊無卑無貧無富少長男女共憂錢財有無同然憂思適

等トアル經說思ヒ合スヘシ

タ、シモトヨリ欲界ノ衆生具縛ノ凡夫ナレハ煩惱ヲ身ニソナヘタル
 コトハ目鼻ノムマレツキタルカコトシイトフトモカナフヘカラスヒ
 トヘニ萬事ヲナケステタケマケニ妻子ヲフリステンコトモ末代ノ機
 ニハカダカルヘシ 二略勸求道ニ 初示末代機相 是ハ本文二段
 ノ中第一段ノ厭苦求道ヲ明スニ二科ト分レテ初ノ廣ク厭苦ノ相ヲ
 示ス一段終リテ今略シテ生死ヲ出離スヘキ要道ヲ求ムヘキコトヲ
 明シタマフ其中今ハ吾等生死出離ノ要道ヲ求ムルニ就テハ欲界ノ
 凡夫ニシテ末代ナレハ其機相劣レルコトヲ示ス 具縛ノ凡夫トハ
 煩惱具足ノ凡夫ナリ 欲界ノ衆生煩惱ヲ身ニソナヘタルコトハ目
 鼻ノムマレツキタルカコトシトハ古德傳四六十 欲界散地ノ凡夫コ
 、ロノ散亂スルコトヒトノメハナノ生得ナルカコトシトアリ餘ノ

文ハ知ルハシ

サレハタトヒ五欲ニマツハルトイフトモタトヒ三毒ヲ斷セストイフ
 トモ凡夫ノスミヤカニ生死ヲハナレヌヘキ道ヲモトムヘキナリ 二
 正勸出離道 是ハ今時ノ如キ設ヒ五欲ノ境界ニ纏縛セラレ三毒
 ノ煩惱ヲ具足シ乍ラ速ニ生死ヲ出離スヘキ要路ヲ求ムヘキコトヲ
 勸メタマフナリ

オホヨソ六趣ノナカニハ人身モトモウケカタク四州ノウチニハ南州
 コトニチカフヘシ 二顯名號勝益ニ 初明受法器相ニ 初正明ニ

初示受身處 是ハ本文二段ト分ル、中ノ第二段ニシテ名號ノ
 勝益ヲ顯スニ付キ先受法ノ器相ヲ明シ次ニ機ニ應スル教法ノ差別
 ナ示シ後ニ正シク名號ノ勝益ヲ顯シタマフ 六趣ノナカニハ人身
 モトモウケカタクトハ要集上本五十 無量生死之中得ニ人身甚難ト

云テ涅槃經ノ生人趣者如爪上土墮三途者如十方土トアリ 四
州ノウチニハ南州コトニチカフヘントハ次下妙樂大師ノ言ヲ引キ
タマフニテ知ルヘシ

妙樂大師ハ若論果報即以南州爲下々若約值佛即以南州爲上々
ト釋シテ世間ノ果報ナイフトキハイノナミシカク苦オホクシテイツ
レノトコロニモナトリタレトモ佛ニアヒタテマツルコトナイフトキ
ハユノ南州ヲモテハクレタリトス佛ユノ州ニイテタマフニヨリテ衆
生コレヨリ出離スヘキカユヘナリ 二引文述成 此妙樂大師ノ言ハ
止觀輔行四之一ニナノ文ナリ須彌四州ノ果報ノ勝劣等ノコトハ法
苑珠林四ニナ等ヲ見ルヘシ是ハ四州ノ中ニ於テ有漏ノ果報ヲ云ヘ
ハ南州ハ短命ニシテ苦惱多ク劣リタレトモ值佛聞法シテ生死ヲ出
離スルハ此南州ヲ以テ勝レタリトスルナリ長阿含二十二ノ閻浮提

人有ニ事勝拘耶尼人何等爲ニ二者勇猛強記能造業行二者勇猛
強記勤修梵行二者勇猛強記佛出其土トアリ其義知ルヘシ

佛ノ在世ニアヒシ機ハチノ益ヲエ記ニアツカリシコトイフニチ
ヨハス滅後ノ衆生ナリトイヘトモ教法流布ノ世ニムマレテカタノコ
トクモ因果ノコトハリナワキマヘマシテ善知識ニアヒ佛法ノ道理ヲ
モキクハアリカタキ宿緣ナリ 二得益 是ハ佛在世及ヒ滅後ノ利益
ヲ明ス一段ナリ 佛ノ在世ニアヒシ機等トハ佛在世ノ益トハ諸經
何レモ得益分アリ 記ニアツカリトハ當來成佛ノ記別ニ預ルコト
ニテ法華等ノ諸經ノ說ノ如シ 滅後ノ利益ニ付キ カタノコトク
トハ方ノ如クト云コトニテ方トハ法也佛教ノ法則ノ如クト云コト
ナリモハ助字ナリ 因果ノコトハリトハ已作不失未作不得ノ正因
正果ノ道理ナリ 佛法ノ道理トハ轉迷開悟ノ佛教ノ道理ナリ

佛法東漸ノユヘニ正法ニハ天竺ノ佛法サカリニヒロマリ像法ニハ晨
旦ノ教迹コトニナヨリ末法ニハ我朝ノ利益ヒトヘニアマチシ 二
示佛法弘傳三 初明ニ朝弘興 佛法東漸トハ法華立義一之一
大法東漸トアリ是ハ後漢ノ明帝永平十年漢土ニ佛法ノ傳來セシコ
トニテ委シクハ傳通緣起等ニ明カナリ此一段正像末ノ三時ニ三朝
ノ佛法弘興ヲ配屬スルハ事實ノマ、ヲ擧ケタマフ其故ハ傳通緣起
等ニ明スカ如ク正法五百年ニハ天竺ノ佛法盛リニ弘マルコトハ論
ニ及ハス漢土ニ創メテ佛教ノ流傳セシハ佛滅後一千十六年ナレハ
像法ニ入りテヨリ五百十六年ナリ其レヨリ漸次ニ弘興セシコト故
晨旦ノ佛教ノ興隆ハ像法ノ時ニ當レリ本朝ニ創メテ佛法ノ傳來セ
シハ佛滅後一千五百零一年ナレハ末法ニ入りタル初年ナリ其レヨ
リ漸次ニ弘興セシコト故我朝ノ佛法ノ利益ハ末法ノ時ニ當レルナ
リ

リ教迹トハ佛教ノコトナリ行事鈔資持記上一之二ニ「聖人出現
爲物垂範謂之教迹」トアリ是ハ佛ノ言教ニ十二部經等ノ蹤迹ノア
ルコトナリ

神ノ代ノスエツカタニアタリテ釋尊涅槃ニイリタマヒシヨリコノカ
タ二千二百餘年末法ニイリテイマタ三百年ニミダス欽明天皇ノ御宇
ニ佛教ハシメテロタリ聖德太子サカリニコレテ弘給シヨリ今マテ七
百餘歲聖教傳來ノノナイマタ千年ニタラス末法萬年ノ最初佛法繁昌
ノ最中ナリ 三叙本朝弘傳二 初明弘興 是ハ化卷所引ノ燈明記
ニ佛滅ノ年代ニ二說アレトモ周ノ穆王五十三年ノ說ナレハ地神五
代ノ中第五代ニ當ルヲ以テ神代ノ末ニ當リテ釋尊涅槃ニ入りタマ
ヒシヨリコノカタトノタマフ 二千二百餘年トハ此鈔選述ノ建武
四年マテハ佛滅後二千二百八十六年ナルカ故ナリ 末法ニイリテ

イマタ三百年ニミタストハ今家依用ノ正像二時ノ年代ニ二説アレ
 トモ正像各千年ノ説ニ依レハ建武四年ハ末法ニ入リテ二百八十六
 年ナレハイマタ三百年ニミタストノタマフ 欽明天皇ノ御宇ニ佛
 教創メテ渡リ聖德太子盛リニ弘メタマヒシコトハ傳通縁起ニ委シ
 ク出ルカ如シ 今マテ七百餘歳トハ聖德太子ハ人王三十四代推古
 天皇ノ二十八年四十九歳ニテ入滅シタマヘハ建武四年マテハ七百
 十八年ナリ故ニ七百餘歳トノタマフ 聖教傳來ノノナイマタ千年
 ニタフストハ聖教トハ大聖ノ教法ト云コトニテ佛教ノコトナリ
 千年ニタラストハ佛法初傳ノ欽明帝十三年ヨリ建武四年マテハ七
 百八十六年ナリ故ニ千年ニ足ラスト云フ 末法萬年ノ最初トハ佛
 滅後二千二百八十六年ナレハ正像各千年ノ説ニ依ル時ハ末法ニ入
 リテ二百八十六年ナリ故ニ末法萬年ノ最初トノタマフ

ヨクノ、オモヒイレテ有縁ノ教門ニイリコノタヒ出離ヲトクヘシ

二勸出離 散善義九隨縁起行各求解脫等トアル文ニ對照シテ
 見ルヘシ

コ、ニ佛教ニナヒテサマノ道アリ 三明佛教差別ニ 初總標
 是ハ 佛教中ニ聖道淨土顯教密教等ノ佛果ニ至ル種々ノ要道アル
 コトヲ示ス

アルヒハ一乘法華ノ妙典ヲタモナテ直至成佛ノ道ヲタツチアルヒハ
 三密瑜伽ノ觀行ヲツトメテ即身頓悟ノ證ヲモトメアルヒハ不立文字
 ノ宗旨ヲツタヘテ一念不生ノハシメナアキラメアルヒハ三聚十重ノ
 戒品ヲウケテ止惡修善ノ教ナマモル 二別明三 初示教義所立

此下略シテ天台眞言佛心戒律ノ 四宗ノ義理ヲ出シタマフ此等ノ
 教義委シクハ步船鈔ニ至リテ知ルヘシ今ハ暫ク之ヲ畧ス

コレミナ生死ヲハナル、要行菩提ニイタル正道ナリ 二明出離要道 上ニ列ヌル四宗ノ教義何レモ出離生死ノ要行佛果菩提ノ正道ナリト示シタマフナリ

シカルニコレヲノ修行ヲタツヌルニアルヒハ清淨ニシテ行スヘキ門モアリ不淨ニシテ行セハ勝利ヲエカクシアルヒハ心地ヲスマシテウヘキ道モアリ心源モシヒラケスハソノ益ナキニ似タリ 三述機教應不二 初明聖道諸教一 初約修相 上ニ列ヌルトコロノ四宗ノ修行ハ何レモ三業ヲ清淨ニシテ修行シ心地ヲ澄潔ニシテ證得スヘキハ勿論ナレトモ且ク之ヲ配セハ三業ノ過非ヲ防キ戒行清淨ヲ主トスルハ律宗ナリ又心地ヲ澄シメ一念不生ノ理ヲ悟ルハ禪宗ナリ 心源トハ心言ヲ絶シタル法性真如ナリ是レ何レモ末代ノ機ニハ修シ難キトコロナリ

コノユヘニ大集經ノ文ニハ我末法時中億々衆生起行修道未有一人得者トイヒ善導和尚ノ釋ニハ若待娑婆證法忍六道恒沙劫末期トイヘリ 二引經釋 大集經ノ文トハ安樂集上^{六三} 大集月藏經九^二五箇ノ五百年ヲ説ク文ヲ取意シテ引キタマヘル文ナリ五箇ノ五百年ノユトハ破邪顯正鈔中^二ニ出テタルカ如シ 善導和尚ノ釋トハ般舟讚^三ノ文ナリ是レハ此娑婆ニシテ無生法忍ヲ證得スルコトノ難キコトヲ示ス無生法忍トハ無漏智ヲ獲得シテ無生無滅ノ真如ノ理ヲ證ルコトナリ
タ、彌陀一教淨土ノ一門ノミヒトヘニ末代相應ノ要行凡夫出離ノ直道ナリ 二述彌陀一教一 初直示應機要行 此一段ハ安樂集上^二 教興ノ所由ヲ明ス一段ヲ對照スヘシ
サレハ釋尊ハ安養ヲサシテ易往ノ淨土トトキ龍樹ハ念佛ヲモテ易行

ノ道ト判シタマヘリ 二具引經釋成義四 初示因果共易 大經
ト易行品ノ意ヲ示シタマフ

得生ノ因ヲサダムトシテハ本願ヲ一念十念ノ稱名ニナヨシ大悲ノキ
ハマリチアラハシテハ利益ヲ五濁五苦ノ衆生ニホトコシタマフ 二

明生因益機 本願ヲ一念十念ノ稱名ニナヨシトハ善導大師ノ釋
ニ依リテ第十八願ノ念佛往生ノ相ヲ明ス 大悲ノキハマリ等トハ

彌陀ノ大悲ノ至極ハ五濁ノ衆生ヲ利益シタマフニアルコトヲ示ス
五濁五苦ノ言ハ序分義_三ニ出テタリ

キカスマ韋提幽閉ノマトノウウニ住立ノ尊ヲ禮シテ無生ノ益ヲエシ
コトヲ凡夫ノ往生コレヨリチコル 三述現益不虛ニ 初韋提得忍

是ハ觀經華座觀ノ經意ニテ定善義ニ釋アリ知ルヘシ
マダキカスマヤ月蓋長者カ門ノマヘニ影向ノカタナヲ拜シテ惡鬼ノ難

ヲハラヒシコトヲ現世ノ巨益モムナシカラサルモノナリ 二月蓋除
難 此月蓋長者ノ因縁ハ請觀世音菩薩消伏毒害陀羅尼經ノ說ニテ

安樂集下_十ニ引テアリ持名鈔末_四披クヘシ
經ニ破戒五逆ヲ攝スル證アリ罪惡ニ怯弱シテ佛智ヲウダカフヘカラ

ス 四顯彌陀本願ニ 初明經釋意ニ 初正明ニ 初明經意 此
經トハ觀經下三品ノ取意ニテ破戒ハ下中品五逆ハ下々品ナリ餘ノ

文ハ知ルヘシ
釋ニ專修專念ヲス、ムル文アリ一向ニツトメテ往生ヲウヘシ 二
示釋意ニ 初學文勸 釋トハ善導大師ノ釋ニテ散善義_七ノ文ナ

リ 一向ノ言ハ散善義_三ニ出テタリ
一向ニツトムルトイフハヒトヘニ彌陀一佛ヲ稱シテ餘ノ一切ノ行業

ヲマシヘスモハラ名號ノ一行ヲタモナテヒトスナニ極樂ヲチカフナ

リ 二釋成上 文ノ意知ルヘシ

ユレ彌陀ノ本願ナルカユヘニ決定往生ノ正業ナリ 二結成 是ハ散善義ノ一心專念彌陀名號乃至是名正定之業順彼佛願故ノ意ナリ執持鈔註正定業ノ釋對照スヘシ

天親ノ淨土論ニ無身光如來ノ名號ヲ讚嘆スルニ稱彼如來名如彼如來光明智相如彼名義欲如實修行相應故ト判セリ 二明ニ名義相應ニ

初略明三 初引論 是ハ名號ノ勝益ヲ明スニ付キ名義相應ノ稱名ニ非サレハ其利益ナキコトヲ示サンカ爲ニ廣ク名義相應ノ相ヲ明ス名義相應トハ光明名號ノ德ニ隨順シテ疑心自力ノ闍喙テ決定往生ノ思ヒニ住スルコトナリサテ此淨土論ノ文ハ五念門ノ中第二ノ讚嘆門ノ行相ヲ明ス 稱彼如來名トハ讚嘆門ノ行相ニテ口ニ名號ヲ稱スルコトナリ 如彼如來光明智相トハ光明ノ德相ヲ顯シ

テ讚嘆ノ由ヲ示ス光明智相トハ破闍喙願ノ益ニテ不了佛智ノ疑ノ闍喙テ往生ノ志願ヲ滿足スルコトナリ其光明智相ニ隨順シテ名號ヲ稱フルカ讚嘆ノ由レナリ如彼名義トハ名號ノ利益ヲ示シテ讚嘆ノ由ヲ示ス名トハ能詮義トハ所詮ナリ其名號所詮ノ義トハ光明ノ德ト同シク破滿ノ益ナリ其名義ニ隨順シテ名號ヲ稱フルカ讚嘆ノ由レナリ是レ讚嘆門ノ行相ヲ明スニ光明ノ德ト名號ノ義トヲ並ヘ舉ケタマヘリ論註下ニ 讚嘆門ヲ明スニ隨順名義稱如來名依如來光明智相修行トアリ次ニ欲如實修行相應故トハ總シテ上ヲ成シタルモノナリ委レクハ論註ニ就テ學フヘシ 問云次下ニ引ク阿彌陀經ニ光壽ニ無量ヲ以テ阿彌陀ノ名義ヲ説クカ如キハ名號所詮ノ義ハ光明ノ利益ニ非スマ今釋スル所ト異ナルハ如何 答云光明ハ名號中所具ノ德用ナレハ光明ヲ以テ名號ノ中ニ收ムル義アリ

又光明ト名號ト相ヲ分テ別ニ顯スコトアリ禮讚ノ以光明名號攝
化十方ノ文行卷兩重ノ因緣ノ如キハ光明名號別相ニ約スルノ義門
ナリ問難ニ出ス所ノ阿彌陀經ノ名義ノ如キハ光明ヲ以テ名號ノ中
ニ收ムルノ義門ナリト知ルヘシ

シカルニ南無阿彌陀佛ト稱スルハスナハナ如實ノ修行ナルカユヘニ
イカナルユヘアリトシラチトモコレヲトナフルニ往生ヲトケイカナ
ル徳アリトワキマヘサレトモコレヲ信スレハ定聚ノカスニイル 二
述意ニ 初法 上ノ淨土論ノ如實修行ノ文ノ意ヲ述成シタマフ

南無阿彌陀佛ト稱スルト云ハ上ノ讚嘆門ノ行相ナリ 如實ノ修行
トハ法ノ實義ニ契フテ修行スルコトニテ破滿ノ益ヲ得テ 名號ヲ
稱スルコトナリ イカナルユヘアリトシラチトモ等トハ凡夫自力
ノ計ヒテ離レテ如實ニ修行スレハ名號ノ具徳トシテ當來ニ往生ヲ

得現生ニ定聚ノ數ニ入ル利益アリト示シタマフ

タトヘハ耆婆カ藥童子ニムカヘハチノツカラ萬病ヲノソクカコトシ

二譬 耆婆カ藥童子トハ彼ノ醫術ニ妙ヲ得タル耆婆ノ藥草ヲ集

メテ製造シタル童子ノ形像ノコトナリ耆婆或云耆域名義集二七+

ニ出ル觀經ニ出ル耆婆大臣ナリ此藥童子ノモトハ寶積經八三ニ委

シク説クカ如ク耆域醫王諸藥ヲ合集シ藥草ヲ取リテ童子ノ形ヲ作

リ端正殊好ニシテ世ニ希有ナリ或ハ國王大臣等來リテ藥童子ヲ視

レハ病皆除クコトヲ得テ安穩ナルヲ致ス云云

サレハ名號ヲ往生ノ正因ナリトフカク信シテ一向ニ稱スルヨリホカ

ハマタシルヘキトコロモナシ 三結成 上ニ明スカ如ク如實修行ノ

稱名ノ外更ニ餘ナシト結成シタマフナリ

シカリトイヘトモオナシクハカノ名義ノ功德ヲキカハイヨク信心ヲ

モヨホスタヨリナルヘシ 二廣述二 初正明三 初示廣述意 是ヨリ下廣ク光壽二無量ノ德ヲ擧テ名號ノ勝益ヲ明スニ付キ上ノ如ク如實修行ノ稱名ノ外知ルヘキニモ及ハサレトモ同シクハ彼ノ阿彌陀佛ノ名義ノ功德ヲ聞カハイヨク信心ヲ増上スル方便トナルヘシト下ニ廣ク名義ノ德ヲ述ル意趣ヲ示シタマフナリ

ソノ名義トイフハ阿彌陀經ニ阿彌陀佛ノ名義ヲトクトシテ彼佛光明無量照十方國無所障導是故號爲阿彌陀トトキ又彼佛壽命及其人民無量無邊阿僧祇劫故名阿彌陀トトケリ 二正明名義二 初引經是ハ阿彌陀經正報段ノ初ニ光壽ノ二無量ニ約シテ阿彌陀ノ名義ヲ説キタマフ文ナリ佛德無量ナリトイヘトモ自利々他圓滿ノ外ナラス故ニ光明ハ利他ノ德壽命ハ自利ノ德ナリ又此二無量ヲ利他門ニ約スレハ橫豎ノ衆生ヲ利益センカ爲ナリト云コト此鈔註ノ如シ

之ニ由リテ佛因位ニ光壽無量ノ誓願ヲ發シ報身ノ果體ヲ成シタマヘリ尙此光壽二無量ニ付キ壽光ノ次第ト光壽ノ次第トアリ是ハ體用ノ次第ナラハ壽光ナリ利他ノ大用ヲ先トスルトキハ光壽ノ次第ナルコト常ノ如シサテ此經文二段ノ中初ノ文ハ無量光ノ義ヲ説キタマフ此文三句下ニ釋スル所ノ大經十二光ノ中初ノ三光ニ當ルコト知ルヘシ後ノ文ハ無量壽ノ義ヲ説ケリ是ハ主莊嚴ノ彌陀ノミナラス伴莊嚴ノ聖衆モ無量壽ナリ此彌陀ノ無量壽ハ第十二壽命無量ノ願人民(聖衆)ノ無量壽ハ第十五眷屬長壽ノ願ヨリ出ルナリサレハ阿彌陀ハ天竺ノコトハナリコ、ニハ翻レテアルヒハ無量光トイヒアルヒハ無量壽ト稱ス 二述成二 初總明四 初梵漢對譯 常ノ如シ コレスナハナ光明ノ無量ナルハ橫ニ十方ノ利益ノホトリナキコトチアラハシ壽命ノ無量ナルハ豎ニ三世ノ化導ノカキリナキコ

トナシメスナリ 二明ニ無量由一 是ハ光壽二無量ハ利他門ニ約ス
レハ横豎ノ利益邊際ナカラシカ爲ナリ

シカレハ南無阿彌陀佛トイフハ光明無量ノ德ニ歸シテ攝取不捨ノ益
ニアツカリ壽命無量ノ德ニ歸シテ永無生滅ノ身ヲエントチカフニ、
ロナリトシルヘシ 三結歸名號一 是ハ六字ノ名號ニハ光壽二無量

ノ德ヲ具スルカ故ニ光明無量ノ德ニ歸シテ信ノ一念ヨリ攝取ノ益
ニ預リ壽命無量ノ德ニ歸シテ當來ハ永ク生滅ノナキ常住ノ法身ヲ
得ント願フ意ナリト明シタマヘリ

コノ二種ノ功德ハ二十三ノ願ヨリイテタリ 四舉能出願一 此光
壽二無量ノ功德ハ二十三ノ願成就ナリ此二願ハ眞佛土卷ニ引用
シタマヘリ イテタリトハ出ノ字ニテ出トハ顯出ニテ成就ヲ示ス
意ナリ

マツ光明無量ノ德トイフハ 二別明二 初光明無量德三 初總標

第十二ノ願ニイハク設我得佛光明有能限量下至不照百千億那由他諸
佛國者不取正覺トトケリ 二別釋二 初舉經文二 初因願文知
ルヘシ

オナシキ願成就ノ文ニハ佛告阿難無量壽佛威神光明最尊第一諸佛光
明所不能及乃至是故無量壽佛號無量光佛無邊光佛無尋光佛無對光佛
炎王光佛清淨光佛歡喜光佛智慧光佛不斷光佛難思光佛無稱光佛超日
月光佛其有衆生遇斯光者三垢消滅身意柔軟歡喜踊躍善心生焉若在三
塗勤苦之處見此光明皆得休息無復苦惱壽終之後皆蒙解脫無量壽佛光
明顯赫照耀十方諸佛國土莫不聞焉乃至佛言我說無量壽佛光明威神巍
々殊妙晝夜一切尙未能盡トイヘリ 二成就文 此文ノ中初二佛告阿
難無量壽佛乃至所不能及トハ光明ノ體德ヲ明スニ付キ彌陀ノ光明

ノ勝レタルコトヲ嘆シテ比況スル一段ナリ 是故無量壽佛ヨリ
超日月光佛マテハ十二光佛ヲ列ヌ此十二光佛ノコトハ下ニ別釋ア
リ 次ニ其有衆生ヨリ善心生焉マテハ光明ノ別德ヲ嘆スルニ付キ
三段アリテ初二衆生ノ得益ヲ嘆スルニ現當兩益アリ其現益ノ中遇
光ノ益ヲ嘆スル文ナリ 遇此光トハ光明ノ利益ヲ信スルコト 三
垢トハ三毒ノ煩惱ナリ是ハ信ノ一念ニ法徳トシテ三世ノ業障一時
ニ消滅スルコトナレトモ別シテ三毒ヲ出シタマフ 身意柔順トハ
三十三ノ願ノ觸光柔順ノ利益ナリ 善心生焉トハ廣大難思ノ慶心
ヲ生スルコトナリ 次ニ若在三途ヨリ無復苦惱マテハ見光ノ益ヲ
嘆ス然ルニ此見光ノ益ハ五趣ニ通スレトモ今利益ノ勝ル、コトヲ
示サンカ爲ニ別シテ三途ニ約シテ説キタマフ之ニ付キ人天ノ善趣
スラ容易ニ彌陀ノ光明ヲ見ルコト能ハス況ンヤ純苦處ノ三途ノ衆
生爭テカ之ヲ見ルコトヲ得ルヤト云ニ是ハ三途ノ衆生常ニ彌陀ノ
光明ヲ見ルト云ニハ非ス故ニ若ノ字アリ若シ別因縁アル衆生ナレ
ハ三途黑闇ノ中ニ在リテモ希ニ見光得脱スル者モアルヘント云意
ナリ 次ニ壽終之後皆蒙解脱トハ當益ニナ上ノ過光見光ノ益ヲ蒙
リシ者ハ壽終ノ後淨土ニ往生シテ解脱ノ證ヲ得ルコトナリ 次ニ
無量壽佛光明顯赫ヨリ莫不聞焉マテハ彌陀ノ光明ノ徳十方世界へ
聞ヘテ一切諸佛三乘衆讚嘆シタマフコトナリ此文光明ヲ嘆スルニ
聞トアルハ光明ノ利益即名號ノ徳ナルコトヲ顯ス言ナリ 次ニ佛
言我説ヨリ尙未能盡マテハ世尊自ラ結嘆シタマフ文ナリ
オホヨソ諸佛ノ功德ノナカニモ光明ヲモテオホク利益ヲホトコシ聖
者ノ奇特ヲ現スルトキモ光明ヲモテ威徳ヲアラハス 二廣釋成二
初通約諸佛聖者等三 初總明二 初正明 諸佛ノ功德聖者ノ功

德何レモ光明ヲ以テ顯スト云コトハ次下ニ其例證ヲ出シテアリ
光明ハコレ智慧ナルカユヘナリ 二出體 是ハ論註ニ佛光明是智慧
相也トアリテ智慧ハ體ニシテ光明ハ相ナリ

大聖釋迦如來靈山法華ノムシロニシテハマツ眉間ノ光明ヲハナナテ
東方萬八千ノ土ヲテラシ 二別明五 初舉法華說 法華ノ會座ノ
放光ノ事ハ序品科註一上ニ出ル

觀經設化ノミキリニシテハ光臺ニ諸佛ノ淨土ヲ現シテ韋提ニ西方ヲ
エラハシメタマフ觀音ハ舉身ノヒカリノウケニ五道ノ衆生ノ色相ヲ
現シテツノ苦患ヲスクヒ勢至ハ頂上ノ天冠ニモロクノ光明ヲイレ
テ種々ノ利益ヲナシタマフ 二出觀經說 光臺現國ノ事ハ觀經序
分七緣ノ中第五欣淨緣ノ意ナリ 觀音ハ舉身ノ光明等トハ觀經正
宗分定善十三觀ノ中第十觀音觀ノ意ナリ 勢至ハ頂上ノ天冠等ハ

同ク第十一勢至觀ノ意ナリ

聖德太子ハ誕生ノトキ光明アリテ殿内ヲテラシ日羅聖人ハ先生ノ善
因ニヨリテ身ヨリ光明ヲハナツ 三示太子日羅緣 太子ノ事ハ平
氏傳ニ敏達天皇元年壬辰正月元日后第中ヲ巡リ廐下ニ到ルニ太子
忽チ降生シタマフ時ニ赤黃光アリ西ヨリシテ來リ殿内ヲ照ストア
リ 日羅ノ事ハ平氏傳ニ太子十二歲ノ秋百濟賢者韋北達率日羅身
ニ異光アリ太子微服シテ見給フニ日羅太子ヲ指シテ神人ナリト云云
法性制底ノ妙典ヲハ金光明最勝王經ト題シ 四出金光明經題 法
性制底トハ最勝王經九五欲入深法界應先聽是經法性之制底甚
深善安住於斯制底内トアリ此制底ノ言ヲ釋スルニ天台ハ漢語ト
ス金光明立下_五體是底義窮源極底理盡淵府光揚實際乃名爲底
ト云ヒ四明記上_三是光之德窮法性底故トアリ此意ナレハ法性制

底トハ眞如法性ノ源底ヲ窮極スル意ナリ又大日經義釋四ニ制底
翻爲福聚謂諸佛一切功德聚在其中是故世人爲求福故悉皆供養
恭敬トアリ是ハ制底ヲ梵語トシテ福德ノ聚集スル義トセリ寄歸傳
三三ニモ梵語トス釋セリ何レトモ理ハ通スレトモ梵語トスルヲ親
シトスヘシ 此經光明ヲ以テ題トス金トハ法性ヲ指ス此法性ニ照
益ノ德アルヲ光明ト名ク金光明玄上ニ釋アリ見ルヘシ
圓頓一實ノ妙戒ヲハ一戒光明金剛寶戒トナツク 五舉金剛寶戒是
ハ本具ノ一心ヲ以テ戒體トス唯信文意ニ大乘ノ一心金剛法戒トア
リ彼ノ略述ニ辨シ置キタリ
コレミナ光明ニツイテ殊勝ノ功ヲソナヘ希奇ノ益ヲ具スルカユヘナ
リ 三結成 希奇ノ益トハ希有奇妙ノ勝益ニテ其相上ニ出テタルカ
如シ

シカルニ阿彌陀如來ハ無量光ヲモテ名トシタマヘルカユヘニ一切ノ
光明コトクク彌陀ノ光明ヨリイテ諸佛ノ智慧シカシナカラ彌陀ノ
智慧ヲハナレサルナリ 二別約彌陀佛光明三 初示光明中極尊
彌陀ノ佛名ハ光明ヲ以テ立テタマフ此光明ニ體用アリ智慧ハ體ニ
テ光明ハ用ナリ故ニ諸佛ノ光明ハ彌陀ノ光明ヨリ出テ諸佛ノ智慧
ハ彌陀ノ智慧ナルコトヲ明ス是ハ眞佛土ニ引キタマヘル大阿彌陀
經ノ諸佛中之王也光明中之極尊也トアル意ナリ
コノユヘニ十方一切ノ諸佛モユソリテコノ光明ヲ讚嘆レ釋迦無導ノ
辯才モカノ光明ノ功德ヲハトキツクスヘカラストノタマヘリ 二
明諸佛釋迦讚嘆 是ハ上ニ引キタマヘル大經ノ光明ノ勝德ニ嘆
シタル結文ノ意ナリ

シカリトイヘトモ要ナトリテコレナイフトキ十二光佛ノ名ヲタテタ

リ 三廣嘆光明勝益二 初約十二光佛三 初總標 是ハ彌陀ノ光
明最勝ニシテ釋尊モ晝夜一切尙未能盡トノタマヘトモ其光益ノ最
要ヲ取リテ云時ニ於テ釋尊大經ニ十二光佛ノ名ヲ立テタマヘリト
云意ナリ

第一ニ無量光佛トイフハ利益ノ長遠ナルコトヲアラハス過現未來ニ
ワタリテソノ限量ナシカストシテサラニヒトシキカスナキカユヘナ
リ 二別明十二 初無量光佛 此十二光ノ釋ハ眞佛土卷御引用ノ讚
彌陀偈及ヒ述文贊ニ依リタマフト見ユルサテ此十二光ヲ分テテ六
科トスル時ハ無量無邊無導ノ三光ハ第一ニ光明ノ體德ナリ上ニ引
ク阿陀彌經ニ阿彌陀ノ名義ヲ説クノ文自ラ三光ニ當ル彼佛光明無
量トハ無量光ナリ照十方國トハ無邊光ナリ無所障導トハ無導光ナ
リ此三光ハ光明無量ノ體德ナルカ故ニ天親菩薩ハ此三光ニ據リテ

佛名ヲ立テ、盡十方無導光如來トノタマヘリ サテ第一ノ無量光
ヲ釋スルニ利益ノ長遠ナルコトヲ顯スト云ニ付キ二釋アリ一ニ三
世ニ約ス彌陀ノ光明ハ三世ニ亘リテ其利益限量ナキカ故カリ二ニ
數量ニ約ス彌陀ノ光明ヲ觀經ニ八萬四千ト説クハ且ク所對治ノ八
萬四千ノ煩惱ニ對シテ能對治ノ光明ヲ八萬四千ト説クトイヘトモ
實ハ彌陀ノ光明ニ數量ハナキナリ

第二ニ無邊光佛トイフハ照用ノ廣大ナル德ヲアラハス十方世界ヲツ
クシテサラニ邊際ナシ縁トシテテラサストイフコトナキカユヘナリ
二無邊光佛 此無邊光ヲ釋スルニ照用ノ廣大ナル德ヲ顯スト云ニ
付キ二釋アリ一ニ無邊際ノ義ニ無緣不照ノ義ナリ

第三ニ無導光佛トイフハ神光ノ障導ナキ相ヲアラハス人法トシテヨ
クサフルコトナキカユヘナリ導ニテヒテ内外ノ二障アリ外障トイフ

ハ山河大地雲霧煙霞等ナリ内障トイフハ貪瞋癡慢等ナリ光雲無導如
 虚空ノ徳アレハヨロツノ外障ニサヘラレス諸邪業繫無能導者ノナカ
 ラアレハモロノ内障ニサヘラレスカルカユヘニ天親菩薩ハ盡十
 方無導光如來ト讚シタマヘリ 三無導光佛 神光トハ神ハ不測ニ名
 クト釋シテ彌陀ノ光明ノ測ルヘカラサル徳アルコトナリ 彌陀ノ
 光明ノ人法ノ障導ナキコトヲ顯スニ付キ内外ノ二障ナキコトヲ示
 ス 貪瞋癡慢等トハ十大煩惱ノ中貪瞋癡慢ヲ擧テ餘ヲ等ス 諸邪
 業繫無能導者トハ定善義ニ十ノ文ナリ

第四ニ無對光佛トイフハヒカリトシテコレニ相對スヘキモノナシモ
 ロノ菩薩ノチヨフトコロニアラサルカユヘナリ 四無對光佛

此無對光以下ハ光明ノ別徳ナリ其中無對炎玉ノ二光ハ六科ノ中第
 二ニ對他顯勝ノ徳ナリ是ハ彌陀ノ光明ハアツユル諸佛菩薩ノ光明

ニ勝レテ並フ者ノナキコトヲ顯ス其中無對光トハ對ハ相對ノ義比
 對ノ義ナリ此無對光ヲ釋スルニ二釋アリ一ニ總シテ彌陀ノ光明ニ
 相對シ比對スヘキ者ナキ義ナリ大經ニ威神光明最尊第一トアリ二
 ニ彌陀ノ光明ハ菩薩ノ光明ノ及フトコロニ非サルノ義是ハ述文贊
 ノ意ニテ述文贊ハ菩薩ノ光明ニ對シテ彌陀ノ光明ノ勝レタルコト
 ナ顯スカ無對光諸佛ノ光明ニ對シテ彌陀ノ光明ノ勝レタルコトヲ
 顯スカ炎玉光ト分ツ義ナリ然ルニ讚彌陀偈ハ無對ヲ釋スルニ佛ト
 モ菩薩トモ所對ヲ簡ハサル意ナリ

第五ニ炎王光佛トイフハマタハ光炎王佛ト號ス光明自在ニシテ無上
 ナルカユヘナリ大經ニ猶如火王燒滅一切煩惱新故トトケルハコノヒ
 カリノ徳ヲ嘆スルナリ火ヲモテタキ、チヤクニツクサストイフコト
 ナキカコトク光明ノ智火ヲモテ煩惱ノタキ、チヤクニサラニ滅セス

トイフコトナシ三塗黒闇ノ衆生モ光照チカウフリテ解脱チウルハユ
 ノヒカリノ益ナリ 四炎王光佛 大經ニハ炎王光トアリ讚彌陀偈ニ
 ハ光炎王トアリ是ハ經本ノ不同ニテ唐宋二本ニハ光炎王トアリ明
 麗二本ニハ炎王光トアリ是ハ法ヲ前ニスレハ光炎王ナリ譬ヲ前ニ
 スレハ炎王光ナリ故ニ何レニテモ妨ナシ 炎トハ熾也ト註シテ火
 ノ盛ンニ燃ユル良ナナリ王トハ自在ノ義ニテ彌陀ノ光明ノ世界ヲ
 照耀スルニ自在ナルコトヲ顯スナリ 大經ニ猶如火王等トハ經文
 ハ淨土ノ菩薩ノ德ヲ嘆シタル文ナレトモ菩薩ノ德スラ煩惱ヲ消滅
 ス況ンヤ彌陀ニ於テチヤト云意ナリ 此炎王光ノ下ニ三途ノ衆生
 益チ蒙ルコトヲ出スハ讚彌陀偈ノ釋ニ依リタマヘリ

第六ニ清淨光佛トイフハ無貪ノ善根ヨリ生スカルカユヘニコノヒカ
 リチモテ衆生ノ貪欲ヲ治スルナリ 六清淨光佛 是ヨリ下ノ清歡智

ノ三光ハ六科ノ中第三ニ化他滅惑ノ德ナリ此三光ヲ釋スルニ次テ
 ノ如ク三總根ト三毒ノ煩惱ニ配釋シテアリ彌陀ノ方ニ無貪無瞋無
 癡ノ三善根ヲ成就シテ此三善根ヨリ此三光ヲ放テ衆生ノ三毒ノ煩
 惱ヲ對治シタマフナリ文ハ知ルヘシ

第七ニ歡喜光佛トイフハ無瞋ノ善根ヨリ生スカルカユヘニコノヒカ
 リチモテ衆生ノ瞋恚ヲ滅スルナリ 七歡喜光佛

第八ニ智慧光佛トイフハ無癡ノ善根ヨリ生スカルカユヘニコノヒカ
 リチモテ無明ノ闇ヲ破スルナリ 八智慧光佛

第九ニ不斷光佛トイフハ一切ノトキトシテテラサストイフコトナシ
 三世常恒ニシテ照益チナスカユヘナリ 九不斷光佛 六科ノ中第四
 ニ常恒不斷ノ德ナリ 上ノ清歡智ノ三光ヲ以テ横ニ十方ノ衆生ヲ
 利益シ此不斷光ヲ以テ豎ニ三世ノ衆生ヲ濟度シタマフナリ

第十二難思光佛トイフハ佛ヲノソキテヨリホカハコノ光明ノ徳ヲハ
カルヘカラサルカユヘナリ 十難思光佛 是ヨリ下難思無稱ノ二光
ハ六科ノ中第五ニ難思議ノ徳ナリ是ハ彌陀ノ光明ノ心ヲ以テ付ル
ヘカラサルヲ難思光ト云ヒ言ヲ以テ説クヘカラサルヲ無稱光ト名
クルナリ

第十一ニ無稱光佛トイフハ神光相ヲハナレテナツクヘキトコロナシ
ハルカニ言語ノ境界ニユエタルカユヘナリユ、ロヲモテハカルヘカ
ラサレハ難思光佛トイヒコトハナモテトクヘカラサレハ無稱光佛ト
號ス無量壽如來會ニハ難思光佛ヲハ不可思議光トナツケ無稱光佛ヲ
ハ不可稱量光トイヘリ 十一無稱光佛 相ヲハナレテトハ有爲ノ十
相ヲ離レタルコトナリ 有爲ノ十相トハ色聲香味觸生住滅男女ナ
リ 餘ノ文ハ知ルヘシ

第十二ニ超日月光佛トイフハ日月ハタ、四天下テテラシテカミ上天
ニナユハスシモ地獄ニイダラス佛光ハアマチク八方上下ナテラシテ
障導スルトコロナシカルカユヘニ日月ニユエタリマタ日輪ハ火珠ノ
所成トシテ能熱能照ノ徳アリ月輪ハ水珠ノ所成トシテ能冷能照ノ用
アリシカルニ彌陀ノ光明ハ清涼ノ光明ヲハナナテ焦熱大焦熱ノホノ
ホナテラスコト月輪ノス、シキ徳ニユエ温和ノ光明ヲハナナテ紅蓮
大紅蓮ノコホリヲトクコト日輪ノアタ、カナルヒカリニスクレタリ
マタ日光ハ觀音ノ應化月光ハ勢至ノ權化ナレハコレ彌陀如來ノ悲智
ノ二門ナリ因位果位ソノクラ并各別ナルカユヘニ彌陀ノ功德ニハナ
ユフヘカラスカユヘニ超日月光佛トイフナリ 十二超日月光佛
六科ノ中第六ニ超日月光ノ徳ナリ實ヲ云ヘハ彌陀ノ光明ハ諸佛ノ
光明ニ勝レダレトモ今凡夫ノ所見ニ約シテ日月ノ光明ニ超ヘタリ

トノタマフ是レ本爲凡夫ノ本願ナルカ故ナリ此下ノ釋具ニ分カテ
 ハ三段アリ初二日月ハタ、四天下ナテラシテ等トハ方處ノ廣狹ニ
 約シニニマタ月輪ハ火珠ノ所成等トハ照用ノ優劣ニ約シニマタ
 日光ハ觀音ノ應化等トハ因果ノ差別ニ約ス日輪ハ火珠ノ所成等ノ
 コトハ俱舍論十一^九等ニ出ル其餘ノ文ハ知ルヘシ
 コノ十二光佛ハ一一ノ德ニツキテソノ名ヲアケタリ別體ナルニハア
 ラス三結成 十二光佛トテ十二體ノ別佛アルニ非ス彌陀一佛ノ上
 ニ別德ニ就テ十二光佛ト名クルト云コトナリ
 ソモ、コノ光明ノ德用ノカヤウニ不可思議ナルコトハシカシナカ
 ラ衆生ヲ利益センカタメナリ 二約攝取光明ニ 初述意 前來所
 明ノ十二ノ光明ノ德用ノ勝レタルコトハ衆生利益ノ爲ナリト示シ
 タマフ

ソノ利益トイフハ念佛ノ衆生ヲ攝取シテステスカナラス淨土ニ生セ
 シムルナリ 二正明二 初畧示利益所爲 知ルヘシ
 ヲ、チモテ觀經ニハ光明遍照十方世界念佛衆生攝取不捨トケリ
 二廣引經釋成義一 初正明光益二 初引經釋二 初經文
 善導和尙往生禮讚ノナカニ觀經阿彌陀經ノコ、ロニヨリテ阿彌陀ノ
 名義ヲ釋シタマフトキ唯觀念佛衆生攝取不捨故名阿彌陀ト判セリ
 二釋文 是ハ禮讚^六阿彌陀經及觀經云ト云テ觀小二經ヲ合糅シテ阿
 彌陀ノ名義ヲ釋シタマヘル文ナリ
 コ、ニシリヌ光明アマチク十方ナテラストイフトモモシ攝取ノ利益
 ナクハ佛ヲ阿彌陀佛トナツケタテマツルヘカラス衆生マタ往生ヲト
 クヘカラスシカルニコノ光明ハ念佛ノ人ヲ照攝シテカナラス往生ヲ
 トケシムルカユヘニ行者ハ名號ヲ稱シテ佛願ニ歸スレハ如來ハコレ

ナ観知シテ攝取ノ益ヲアタヘタマフ 二成義二 初正成 前ノ観小

二經ノ意ヲ釋成シタマヘリ文ノ意知リ易シ

コレ名號ノ大利念佛ノ巨益ナリ 二結歸 光明攝取ノ利益ヲ名號ノ

利益ニ結歸シタマヘリ次下^四ニモ名號ノナカニ攝取不捨ノ利益

アルコトヲ明シテアリ

解第一義ノ智人ヲモテラサス讀誦大乘ノ持者ヲモ攝セス持戒修慈ノ

機ヲモスクハス孝養父母ノヒトヲモエラハス因果ノ理ヲワキマヘサ

ル癡人ナレトモ佛號ヲトナフルモノアレハコレヲモトメテラシ苦

提心ヲチコサ、ル愚者ナレトモ念佛ノユエアルトコロニハコレヲタ

ツチテ攝取シタマフ 二比校對辨二 初正對辨 解第一義ノ智人ト

ハ觀經九品ノ中ノ上中品ノ行人ナリ 解第一義トハ眞如ノ理ヲ解

了スルコトニテ第一義トハ眞如ノ理ノコトナリ 讀誦大乘ノ持者

トハ三福業ノ中第三福ノ下ニ出ル持戒修慈ハ第三福ノ受持三歸具

足衆戒ト第一福ノ慈心不殺ナリ孝養父母トハ第一福ノ下ニ出ル是

レハ上中六品ノ善機ノ相ナリ此等ハスヘテ攝取ノ利益ヲ蒙ラサル

雜業ノ行者ナリ 因果ノ理ヲワキマヘス菩提心ヲチコサ、ル愚者

トハ下三品ノ惡人ノコトナリ是レ其機ハ愚惡ノ人ナレトモ佛號ヲ

稱フル念佛ノ行者ナレハ之ヲ攝取シタマフト云意ナリ

サレハ善導和尚處々ノ解釋ヲミルニアルヒハ彼佛心光常照是人攝護

不捨總不論照攝餘雜業行者トイヒアルヒハ唯有念佛蒙光攝當知本願

最爲強ト釋シアルヒハ不爲餘緣光普照唯覓念佛往生人ト判シアルヒ

ハ莫論彌陀攝不攝意在專心廻不廻トノヘタリ二引文成二 初引文

此下四文ヲ引ク中ニ於テ彼佛心光ノ文ハ觀念法門^十ノ文ニテ銘文

四引用アリ次ノ唯有念佛ノ文ハ禮讚^{十三}ノ文ナリ次ノ不爲餘緣ノ文

ハ般舟讚^{十二}ノ文ナリ次ノ莫論彌陀ノ文ハ同^八ノ文ナリ文ノ意解ス
ヘシ

コレミナ諸行ノ行人ハ光照ヲカウフラサルコトヲアカシ念佛ノ行者
ノミ攝取ニアツカルコトヲアラハスナリ 二成義

阿彌陀ヲ無量光ト翻スルニツキテイサ、カ光明ノ德ヲノフルコトカ
クノユトシ 三總結二 初正結所明 是ハ上ノ^{十四}ニ阿彌陀ヲ翻

シテ無量光トイヒトアルニ就テ光明ノ德ヲ述ルコト是クノ如シト
光明ノ利益ヲ明ス下ヲハ總結シタマヘルナリ

名號ノナカニカ、ル攝取不捨ノ益アルカユヘニ南無阿彌陀佛トトナ
フレハ決定シテ往生ヲトクルナリ 二結歸名號 攝取不捨ハ名號

中ノ具德ナレハ如實ニ名號ヲ稱フレハ決定往生ノ益ヲ得ルト光明
ノ利益ヲ名號ニ結歸シタマヘルナリ

ツキニ壽命無量ノ德トイフハ 一壽命無量德二 初總標

第十三ノ願ニイハク設我得佛壽命有能限量下至百千億那由他劫者不
取正覺トイヘリ 二別釋二 初舉經文二 初正引二 初約能化文

二 初因願文

オナシキ願成就ノ文ニハ佛語阿難又無量壽佛壽命長久不可稱計汝寧
知乎假使十方世界無量衆生皆得人身悉令成就聲聞緣覺都共集會禪思
一心竭其智力於百千萬劫悉共推算計其壽命長遠之數不能窮盡知其限
極トイヘリ 二成就文 此文ノ中佛語阿難ヨリ不可稱計マテハ彌
陀ノ壽命ノ長遠ナルコトヲ標ス次ニ汝寧知乎ヨリ知其限極マテハ
事ニ寄セテ顯ス其義知ルヘシ

マタ教主ニカキラス極樂ノ菩薩聖衆ノ壽命モ無量ナルコトヲトキテ
聲聞菩薩天人之衆壽命長短亦復如是非算數譬喩所能知也トイヘリ

二約所化文二 初大本文 上ノ彌陀ノ無量壽ヲ説キタル經文ノ
次下ノ文ナリ

マダ阿彌陀經ニハ彼佛壽命及其人民無量無邊阿僧祇劫故名阿彌陀ト
トケリ 二小本文 上ニ已ニ引キタル文ニテ此文ハ能化所化ノ壽命
無量ヲ合説ストイヘトモ今ハ所化ノ壽命無量ヲ明ス段ヲ正所用ト
スルナリ

サレハ能化ノ佛モ所化ノ聖衆モトモニ壽命無量ニシテ算數譬喩モテ
ヨフトコロニアラス 二結成

カクノコトク壽命ノ無量ナルコトハ利益三世ニワタリテ衆生ヲ化度
スルコトカキリナカラシメタメナリ 二廣釋成二 初示利益所爲
文ノ如ク知ルヘシ

諸佛ノ壽命ハ長短トモニ機ニシテカヒテソノ益アリトイヘトモ壽命

誓ノイタリテミシカキハ利益ニモル、衆生オホシ 二正成其義三

初總明 諸佛ノ壽命ハ長短トモニ機ニシテカヒトハ北本涅槃三

^註南本涅槃三^註若欲住壽能得如意於壽命中脩短自在トアリ

釋尊ノ住世ハ八十年化導ノ時分ハタ、五十年ナリソノアヒタ在世當
機ノ衆ハ得益マコトニシケカリシカトモ滅後ノ凡惑ハサトリナヒラ
クモノスクナシ正像末ノ三時ソノ證ヲトルコト次第ニ減スコレスナ
ハナ在世ノ機緣ヒサシカラサルニヨリテ大聖ヲサルコト遙遠ナルカ
ユヘナリ 二別明三 初約釋尊壽命 釋尊ノ住世ハ八十年ト云コト
法華玄贊九^註佛祖通載四^註諸文ヲ引ケリ 化導ノ時分ハタ、五十
年トハ三十成道ヨリ八十入滅マテノ年時ナリ 正像末ノ三時ソノ
證ヲトルコト次第ニ減ストハ正法ノ時ハ教行證ヲ具シ像法ノ時ハ
教行ノ二法ヲ具スル等ノ如シ 大聖ヲサルコト遙遠トハ選擇集ノ

初二安樂集ヲ引テ末法ニ於テ聖道ノ難證ニ二由アル中一ニハ由去大聖遙遠トアリ

イカニイハンヤ住無住佛ノ壽命ハタ、一日一夜所説ノ法門イクハクナラス月面如來ノ壽命ハワツツニ一日アシタニ出世シテ夕ニ入滅ス

二約諸佛壽命 此住無住佛ノ事ハ未タ其本據ヲ詳ニセス 月面如來ノコトハ華嚴大疏鈔十二^ニ佛名經ヲ引テ月面佛ノ壽ハ一日夜トアリ

三約彌陀壽命ニ 初明壽命長久ニ 初約過去ニ 初總明

雙卷經ナラヒニ阿彌陀經ニハトモニ十劫トトキ大阿彌陀經ニハ十小劫トトケリ 二別示三 初大小二本説 正依ノ大經ト阿彌陀經ニハ十劫ト説キ異譯ノ大阿彌陀經ニハ十小劫ト説キ又平等覺經ニハ十

八劫ト説キ立并譯ノ稱讚淨土經ニハ十大劫トアリ是レ經本ノ不同ナレハ強テ和會スヘカラス

マタ法華經ノ説ノコトクナラハ三千塵點ノ古佛ナリ 二法華經説化城喻品科註三ニ^十大通智勝佛ノ十六王子ノ第九阿彌陀佛ト説ケリ故ニ三千塵點劫ノ古佛ナリ

般舟經ノ説ニヨラハ三世ノ諸佛ノ本師也過去カクノコトシ 三般舟經説 此經説ハ口傳鈔ニ引キタマフカ如シ

未來マタ限量ナシ千劫萬劫恒沙劫兆載永劫ニシテマタ無央數劫ナリ 二約未來 彌陀ノ壽命ハ未來ニモ限量ナキコトヲ示ス 法事

讚下^九壽命延長難可量千劫萬劫恒沙劫兆載永劫亦無央トアリ

シカレハタトヒ一世二世ニ利益ニモルトモ如來ツチニ世ニマシマス カユヘニツ并ニソノ濟度ニアツカルヘシ 二顯利益長遠三 初約

時節遠近三 初總明 壽命無量ノ利益ノ普キコトヲ述ヘタマフ

阿彌陀經ノナカニ已發願今發願當發願ノモノミナ往生スヘントトケ
ルハコノコ、ロナリ 二別明二 初小本說 是ハ舍利弗若有人已

發願今發願當發願欲生阿彌陀佛國者トアリ此經說ハ總シテ三

發願ノ益ヲ擧テ願生ヲ勸メタマフ此已今當ハ過現末ノ三世ナリ已

發願トハ過去ノ生ニテ彌陀ノ淨土ニ往生セント願ヲ發セシ者ナリ

今發願トハ現在ノ生ニテ彌陀ノ淨土ニ往生セント願ヲ發ス者ナリ

當發願トハ未來ノ生ニテ彌陀ノ淨土ニ往生セント願ヲ發ス者ナリ

此三發願ノ機類スヘテ彌陀ノ淨土ニ往生セント願スルカ故ニ欲生

阿彌陀佛國者ト說ケルナリ尙此三發願ニハ隱顯ノ意趣各別ナレト

レモ繁ヲ恐レテ之ヲ略ス

第二十ノ果遂ノ願マタソノ義ナリ 二二十願 是ハ二十願ノ果遂ノ

益ヲ阿彌陀經ノ三發願ニ例同シタマヘリ第二十願ニ係念我國トア

リテ一度彌陀ノ淨土ニ念ヲ係ケタル者ハ果遂ノ利益アリト誓ヒタ

マヘリ是レ彌陀經顯說ノ自力ノ發願ニ同スルナリ

修行ニ真假アレハ往生ニ遲速アルヘキカユヘニアルヒハ順次ニモ往

生シアルヒハ二生三生ニモ往生スルモノ相續シテタユヘカラス念ヲ

彌陀ノ名號ニカケオモヒテ安養ノ淨刹ニハコフモノ娑婆ノ一國ナリ

無量ナリ他方世界モマダ無數ナルヘシ過去現在ステニ無量ナリ未來

マダ無窮ナルヘシ 三結成 壽命無量ノ利益ノ長遠ナルコトヲ結成

シタマフ 修行トハ彌陀ノ淨土ニ往生スルニ就テノ修行ナリ 眞

假トハ十八十九二十ノ三願ノ中十八願ハ眞實ノ修行十九二十ハ方

修ノ修行ナリ 往生ニ遲速アルヘキカユヘニトハ化土ノ往生ハ遲

ナリ 眞土ノ往生ハ速ナリ 順次ニモ往生シトハ眞土ノ往生ナリ

二生三生ニモ往生スルトハ化土ヲ歷テ眞土ニ往生スルコトナリ
念ヲ彌陀ノ名號ニカケオモヒテ安養ノ淨刹ニハユフモノ等トハ大
經下卷ノ六十七億不退ノ菩薩ノ往生ノ如シ 他方世界モマダ無數
ナルヘシ等トハ十四佛國ノ諸大菩薩ノ往生ノ如シ大經ノ文ヲ讀ム
ヘシ

モシ如來ノ壽命ニ際限アラハ利益ニモル、衆生アルヘキカユヘニ十
方ノ有情ヲモラサス三世ノ群類ヲノコサスミナ極樂淨土ニ生セシメ
無量壽ノ佛智ニ契當セシメンカタメニ如來ノ壽命ハカキリナキモノ
ナリ 二約普濟群類ニ 初明壽命無量由 是ハ彌陀ノ無量壽ノ證
ヲ得タマフハ一切衆生ヲ淨土ニ往生令メ無量壽ノ證ヲ得令メンカ
爲ナルコトヲ示シタマフ此文ニ無量壽ノ佛智ニ契當セシメンカタ
メトアルハ是ヨリ下ノ所明ハ今家別途ノ所談ニ異ナリテ諸經和讚

ノ初ノ二首及ヒ口傳鈔下卷ノ初ニ明シタマヘル台密ノ所談ヲ以テ
示シタマフト見ユル故ニ是ヨリ下ノ所明ノ義骨ヲ知ラント欲セハ
眞佛土卷六要七ニノ文ヲヨク讀ムヘシ即チ光壽ニ無量ヲ以テ
彌陀報身ノ果體ヲ顯スニ付キ理智不二體用不離ニ約シテアリ無量
壽ハ理ニシテ體ナリ無量光ハ智ニシテ用ナリ彌陀ノ無量壽ハ本覺
ノ理因願酬報ノ無量光ハ始覺ノ智ナリ故ニ理智不二始本一體ナリ
ト云意此存師ノ思召ハ十劫成覺ト久遠ノ實壽トチ會合シテ理智不
二ノ覺體ヲ成立シタマフ次ノ六要ニ法華ノ壽量品ノ釋迦ノ久遠ノ
實壽ヲ阿彌陀ノ名義トシ壽量品ノ慧光照無量壽命無數劫ノ文ヲ引
テ無量光トハ佛智觀照ノ妙用無量壽トハ法身常住ノ妙理ナリ體用
不離ニシテ理智冥合ス釋尊ノ功德全ク阿彌陀佛ノ功德ナリト明シ
タマヘリ此意ヲ得テ今鈔ノ文ヲ讀ムヘシ故ニコノ無量壽ノ佛智ト

云ハ法身常住ノ理ヲ體トスル無量壽ナリ佛智ト云ハ法身常住ノ理
ヲ觀照スル佛智ナリト知ルヘシ契當トハ相應ノ義ニシテ證リ顯ス
コトナリ

ユレニヨリテ涅槃經ニハ阿耨達池出四大河如來亦爾出一切壽一切人
天壽命大河流入如來壽命大海トイヘリ 二引經說證成義 涅槃經
トハ北本三取九南本三取九取意ノ文ナリ 阿耨達池トハ無熱池トコト
ナリ印度ノ雪山ノ北ニアリ四大河トハ旃伽、信度、縛芻、徙多ナ
リ此經文ハ如來ヲ壽命ノ根本トシ一切衆生ノ壽命ハ如來ノ壽命ニ
入ルト云意ナリ而シテ鈔主ハ此鈔三十一ニ此如來ノ壽命ヲ彌陀ノ壽
命トシタマヘリ知ルヘシ

シカレハ阿彌陀如來ハ久遠實成ノ覺體無始本有ノ極理ナリ迷悟染淨
一切ノ萬法コトクク阿彌陀ノ三字ニ攝在セストイフコトナシ 三

就彌陀覺體ニ示三 初顯本有極理 是ハ口傳鈔ニ久遠實成ノ彌陀
ヲモテ法身如來ノ本體トサタメテトアルト同意ナリ 無始本有ノ
極理トハ六要ニ無量壽者法身常住之妙理也トアルト同意ナリ然ル
ニ固ヨリ理智不二ナレハ慈覺大師ノ眞言所立三身問答初理智不二
智法身之如來也トアルト同意ニテ理智不二ノ中暫ク理ノ方ニ就テ
名目ヲ立テタルノミナリ 迷悟染淨一切ノ萬法コトクク阿彌
陀ノ三字ニ攝在セスト云コトナシトハ彌陀ヲ以テ無始本有ノ極理
トスルカ故ニ本有ノ極理ハ萬法ノ本源ナレハ阿彌陀即萬法ノ本源
ナルヲ以テ萬法悉ク阿彌陀ノ三字ニ攝在スルノ義ヲ成スルナリ是
ハ唯信文意ヒコノ如來微塵世界ニミナノタマヘリスナハチ一切
群生海ノ心ニミナタマヘルナリ等トアルニ同シ此萬法コトクク
阿彌陀ノ三字ニ攝在スト云例ハ瑜伽集要焰口施食儀九法界藏身阿

彌陀佛トアリ又源信和尙ノ正修觀記中此阿字無故諸法空寂彌字量
 故萬象森爲陀字壽故中道實相此三諦中攝一切法トアリ知ルヘシ
 シカルニ衆生一念ノ迷妄ニヨリテ眞如ノミヤコナマヨヒイテ流轉ノ
 凡夫トナリシヨリコノカタヒサシク塵勞ニオホハレテ本有ノ理性ヲ
 ワスレタリ 二示發願成道二 初明衆生迷真相 一念ノ迷妄トハ
 起信論ノ忽然念起名爲無明トアル迷眞ノ一念ナリ 眞如ノミヤ
 コナマヨヒイテ流轉ノ凡夫トナリシ等トハ流轉門ノ相ナリ 塵勞
 ハ煩惱ノ異名ナルコト常ノ如シ 本有ノ理性ヲワスレタリトハ牛
 羊ノ東西ノ方角ノ中ニ在リツ、東西ヲ知ラサルカ如シ諸神本懷集
 ニモ本覺ノ理ヲワスレタリトアリ
 シカルアヒタ無作ノ誓願ヤムコトナク無緣ノ慈悲ニモヨホサレテカ
 ノ群類ヲ度シソノ迷情ヲヒルカヘサシメンカタメニカリニ法藏比丘
 トナリサラニ四十八ノ大願ヲ超發シタマヘリ 二正示發願成道二

初超發大願 無作ノ誓願トハ次ノ無緣ノ慈悲ニ對スル言ニテ無
 作トハ爲作造作ノ分別ヲ離レ平等ノ眞理ニ契フテ發願スルコトナ
 リ 無緣ノ慈悲トハ因緣ナキ者ヲ救フ慈悲ト云コトニ非ス論註上
 三緣ノ慈悲ノ中ノ無緣ノ大悲ノコトニテ差別ノ所緣ノ境界ナク
 平等ノ理性ニ體達シテ發ス大悲ノコトナリ是レ久遠ノ古佛群類ノ
 迷情ヲ翻ヘサ令ンカ爲ニ法藏比丘トナリテ四十八願ヲ超發シタマ
 フカ故ナリ
 コノユヘニ十念往生ノ誓願ヲナコシ十劫成道ノ方便ヲシメシテ一心
 專念ノ行者ヲハ十八ノ願ヲモテ攝受シ修諸功德ノ行人ヲハ十九ノ願
 ニテ引接シ乃至カリニモ念ヲカノクニ、カクル機ヲハ二十ノ願ヲモ
 テ果遂セシメタマフカユヘニ發心ニ前後アレハ往生ニマダ遠近アレ

トモツ井ニハ六道生死無常ノ壽命ヲ攝シテミナ一實真如本有無量壽ノ佛智ニ流入セシムヘントシルヘキナリ 二成道攝益 十念往生ノ誓願ヲナコシトハ第十八ノ念佛往生ノ誓願ノコトナリ然ルニ第八願ヲ十念往生ノ誓願ト名クルニ付キ選擇集本ニ諸師ノ十念往生ノ願ト云ハ其意周チカラス善導ノ念佛往生ノ願ト云ハ其意周チシトアリ然ルニ今鈔主十念往生ノ願トノタマヒテハ黑谷ノ釋ニ違スルニ非スヤト云ニ是ハ十念往生ヲ願名トシタマフニハ非ス願文ノマ、ニ誓願ノ利益ヲ述ヘタマフ論註下三十三念念佛便得往生トアリ必ス諸師ノ願名ニ同スルト怪シムヘカラス 十劫成道ノ方便トハ真要鈔ノ十劫已來ノ成道ヲトナヘタマヒシハ果後ノ方便ナリトアルニ同シ 一心專念ノ行者ヲハ等トハ眞實ノ願ノ攝益ナリ 一心專念ノ言ハ散善義ヨリ出ル第十八願ノ三信十念ナリ 修諸功德

ノ行人ヲハ等トハ十九二十ノ方便ノ願ノ攝益ナリ知ルヘシ 發心ニ前後アレハ往生ニマダ遠近アレトモ等トハ衆生ノ宿善ニ差別アレハ發心及ヒ往生ニ差別アレトモ終極スルトヨロ生死無常ノ壽命ヲ攝受シテ本有無量壽ノ佛智ニ流入令メタマフニアリ 諸佛ノナカニヒトリ無量壽佛ト號ス 三結歸彌陀佛號ニ 初標 諸佛ノ中コトサラ彌陀ヲ無量壽ト號スルカラハ彌陀ヲ以テアラユル壽命ノ根本トスル趣キヲ示シタマフ 壽命ハ一切ノ根元ナレハ諸佛モ彌陀ノ智慧ヨリ流出シ衆生モマダカノ壽命ヨリイテ、カヘリテミナ如來ノ壽命ニ流入スヘキナリ 二釋 四 初正明其由 壽命ハ能持、一切諸法ハ所持ナレハ能持ノ壽命ヲ以テ一切ノ根元トス其能持ノ壽命ノ本體ハ阿彌陀佛ナレハ諸佛モ衆生モ彌陀ヨリ出テ、皆彌陀ノ壽命ニ流入スヘント示シタマ

フ

イマ涅槃經ニ如來ノ壽命トイヘルスナハチ彌陀ノ壽命ナルヘシ壽命
 ノナカニ無量壽ナルカユヘナリ 三會涅槃經ニ 此鈔上ハニ引キ
 タル涅槃經ニハ通シテ如來ノ壽命トアレトモ通即別ヲ以テ論スレ
 ハ如來ノ壽命ト云ハ彌陀ノ壽命ナルヘシ其義無量壽ト號スルヲ以
 テ知ルヘシト云意ナリ
 サレハ眞言教ニハ無量壽佛ヲモテ大日法身ノ常住ノ壽命ト談ス法身
 ノ壽命ナラハ一切ノ壽命ハコレヨリイツルコトウタカフヘカラス
 三會眞言教ニ 此眞言教トハ密嚴諸秘釋一ニ覺饒ノ阿彌陀秘釋ニ
 阿彌陀佛者是自性法身觀察智體一切衆生覺了通依乃至凡有十三翻
 名一者無量壽法身如來居法界宮不生不滅是故大日如來或名無量
 壽佛トアリ今ノ一段ニ合セ見ルヘシ

天台ニハタ、彌陀ヲモテ法門ノ主トストイフ法門ノ主ナラハ一切ノ
 諸佛マタ彌陀ヲハナルヘカラストイフコトアキラカナリ 四會天台
 說ニ 此天台ノ釋ハ止觀二之一ニ但專以彌陀爲法門主トアリ常
 ニ出ルカコトシ
 オホヨソ佛ヲ無量壽佛トナツケ國ヲ極樂ト號スルハ如來ノ名ヲキ、
 テ無量壽常住ノ果ヲエントチカヒ國土ノ名ヲキ、テ涅槃常樂ノサト
 リヲヒラカントチカフヘキコトハリアルカユヘナリ 三約依正名
 號ニ 初總標 是ハ依正二報ノ名號ニ就テ利益ノ長遠ナルコトヲ
 明ス 無量壽佛ト云ハ正報ノ名號ナリ 極樂ト云ハ依報ノ名號ナ
 リ 此依正二報ノ中無量壽如來ノ名號ヲ聞キテ無量壽ノ常住ノ果
 ナ得ント願ヒ極樂ノ名ヲ聞キテ涅槃常樂ノ證ヲ開カント願フヘキ
 理由アレハナリ 國土ノ名トハ依報ノ名號ノコトニテ論註上ニ安

樂淨土ノ名ト云ヒ同下ニ國土名字トアリ其義知ルヘシ

ソノユヘハ生アルモノハミナ死ヲオソル、カユヘニ壽ヲモテダカラ
トシ業ヲウクルモノハコトクク苦ヲニクムカユヘニ樂ヲチカフコ
、ロアリ 二別明二 初明由 一切衆生スヘテ壽命ト樂果ヲ願フ

心アルコトヲ示ス 壽ヲモテダカラトシトハ智論十三一一切寶中

人命第一トアリ業ヲウクルトハ業因所感ノ果報ヲ受ルコトナリ

觀經義ニ涅槃經ヲヒキテイハク一切諸衆生無不愛壽命勿殺勿行杖怒
已可爲喻トイヘリ 二釋成二 初明有情怖死壽爲寶二 初引文

觀經義トハ序分義三ニ經云ト云テ引ケリ是ハ北本涅槃十ニノ文ナ
リ怒ノ字經本ニハ恕ニ作ルヲ聞ヘ易シトス

一切ノイキトシイケルモノモシヒトヲミルトキオソレハシリカクレ
ニクルコトハタ、惡縁ヲサリ壽命ヲマモランカタメナリ畜類ノモノ

シラスオロカナルモノナテ身ヲ愛シイノチヲオシムコトカクノコト
シイハンヤヒト、シテ生ヲ愛シ死ヲニクマサランヤマコトニ七珍萬

寶モ死スレハシダカフモノナシ榮華榮耀モイノチノアルウヘノコト
ナリ 二述義二 初述文意 一切ノイキトシイケルモノ等トハ禽

獸スラ身命ヲ愛惜ス況ンヤ人ニ於テチヤト云意ナリ マコトニ七
珍萬寶モ死スレハシダカフモノナシトハ彼ノ大集經ノ妻子珍寶及

王位臨命終時不隨者ノ説ノ如シ 七珍トハ金銀等ノ七寶ノコトナ
リ 榮華榮耀等トハ知ルヘシ

人間ヨリモ天上ノ壽ハナカク天上ニトリテモ六欲天四禪四無色次第
ニ上天ノイノチノヒサシキハ果報ノスクレ修因ノマサリタルユヘナ

リ 二釋成義二 初比校人天 此下法苑珠林六道篇及ヒ三界義
等ヲ見ルヘシ 修因トハ十善業及ヒ禪定ナリ

サレハ果報ノスクレタルトイフハイノナカキヲモテソノ詮トス
タレカイノナチカハサランヤ 二示果報勝

ツキニヨロツノ有情コトクク苦ヲニクミ樂ヲチカフコ、ロアリト
イフハ 二明有情憎苦願樂一 初標 是ハ上三ノ文ヲ承ケテ此

標文ヲ置キタマヘリ

大論ノ文ヲミルニ一切衆生皆願得樂無願苦惱ト判セリ 二釋二 初

引文 是ハ智論七紙二ノ文ナリ

ユレスナハナ死ヲニクミテ生ヲモトメ貧ヲイトヒテ福ヲ愛スルミナ
苦ヲニクムコ、ロヨリヲユリ樂ヲチカフオモヒヨリイテタリ乃至病
ヲエテクスリヲタツ子飢ニソソミテ食ヲモトメアツキ天ニカセナマ
ナサムキトキニ火ヲモトムルマテモ苦ヲイトヒ樂ヲチカフコ、ロニ
アラストイフコトナシ 二述義二 初述文意 文ノ意解シ易シ

シカレハ衆生ハ死ヲニクミテイノナチ愛スルカユヘニ長遠ノ壽命ヲ
モトメントスルニ北州ノ千年モツクル期アレハ人間ノ壽命モチカフ
ヘキニアラス非想ノ八萬劫モソノチハリチキニアラサレハ天上ノ壽
命モモトムルニダラス 二釋成義二 初約正報二 初厭離相 北

州ノ千年等ノユトハ俱舍十一三境界義ニ出ル如シ

マコトニ無常生滅ノ報ヲハナレ常住無爲ノ果ヲエントオモハ、無量
壽ノ國ニムマレントオモフコ、ロアルヘシ 二欣求相 御文ニ人間
ハ不定ノサカヒナリ極樂ハ常住ノ國ナリ等トアル意ナリ

マタ衆生ハ苦ヲニクミテ樂ヲモトムルカユヘニ不退ノ快樂ヲエント
スルニ人天ノ樂ハナチシ電光ノコトシ須臾ニスナハナスツカヘリテ
三惡ニイリテ長時ニ苦ヲウクレハユレマダ著スヘキトコロナシ 二

約依報二 初厭離相 不退ノ快樂トハ往生要集十樂ノ中第五ニ快

樂無退樂アリ 人天ノ樂ハナチシ電光ノコトシ等トハ定善義註ノ語ヲ用ヒタマフ

コノユヘニ淺ヨリ深ニイタリテ次第ニ苦ナイトヒ樂ヲモトムルコ、口至極セハカナラス極樂淨土ニムマレントオモフヘシ 二欣求相淺ヨリ深ニイタリテトハ三途ノ苦ヲ厭フテ人天ノ樂ヲ求ム人天ノ苦ヲ厭フテ淨土ノ果ヲ求ムルカ如シ

コ、ナモテ三世ノ諸佛ノナカニ無量壽ノ名ヲエ十方ノ淨土ノ中ニ極樂トナツクルコトハ一切衆生コトククコノ名號ニヨリテカノ淨土ヲチカヒミナ無量壽ノ壽命ニ歸入シテヒトシク極樂無爲ノ法樂ヲウクヘキユヘナリ 三結成 依正ノ名號ニ約スル一段ノ結成ノ文ナリ

コノ名號トハ總シテ依正ニ報ノ名號ヲ指ス 極樂無爲ノ法樂トハ禮讚註長時永切常受無爲法樂トアル語勢ニ依リタマヘリ

シカレハ南無阿彌陀佛トトナフルコトハノウチニ無量光ニ歸命スル義モアリ無量壽ニ南無スルコ、ロセアルカユヘニ光明ヲ念スルイハレアレハ攝取不捨ノ益ニアツカリ壽命ヲ念スルコトハリアレハ如來ノ壽命ニ流入シ涅槃ノサトリヲヒラクヘキ義アルナリ 三總結名義四 初結上來所明 是ハ正シク名義ヲ明スニ三科ト分レタル中ノ第三科ナリ 光壽ニ無量ハ名號ノ具德ナレハ光明ノ德ヲ信スルニ由リテ現生ニ攝取不捨ノ利益ヲ蒙リ壽命ノ德ヲ信スルニ由リテ當來ニ壽命無量ノ涅槃ノ證ヲ開クヘキ義アリト示ス末燈鈔三十 眞實信心ノ行者ノ心報土ニイタリ候ヒナハ壽命無量ヲ體トシテ光明無量ノ徳用ハナレタマハサレハ如來ノ心光ニ一味ナリトアル文併セ見ルヘシ

マコトニ如來ノ功德オホシトイヘトモ光明壽命ノ功德ニハスキスコ

ノ二種ノ功德ノナカニ萬徳コトノクソナハレリカノ萬徳シカシナ
 カラ名號ノ一行ニコモレルナリ 一明萬徳攝歸 彌陀ノアラユル
 功德ヲ光壽ニ無量ニ攝メ此二種ノ功德ニ萬徳圓備シ彼萬徳名號ノ
 一行ニ攝在スル義ヲ示シタマフナリ
 カルカユヘニモロノ雜行ヲサシテキテコノ一行ヲツトメ種々ノ
 助業ヲカタハラニシテソノ一心ヲモハラニセヨトス、ムルナリ 三
 示勸ニ一行一心ノ光明黒谷相承ノ癡立ノ正意ヲ明シタマフ選擇集
 ノ總結ノ文併セ見ルヘシ
 ヲレ經釋ノオシフルトコロナリアフイテコレヲ信スヘシ 四顯無
 私勸信 前來明ストコロノ名義ノ徳用ハ上ニ引クカ如ク經釋ノ明
 文ニ出ルトコロニシテ私ナキ義門ナレハ仰イテ之ヲ信受スヘシト
 云意ナリ

問テイハク樂トイフハ苦ニ對スルコトハナリ苦ハスナハナ樂ノヨル
 トコロ樂ハスナハナ苦ノフストコロナリソノ體ヲダツヌルニ實體ナ
 シサレハ苦ニアラス樂ニアラサルヲ捨受トナツケテ樂受ヨリハマサ
 レリトスイハユル色界四禪ノウチ三禪マテハ樂受第四禪ハ捨受ナリ
 ステニ三界有漏ノ果報ノウチニナテ下地ハ樂受上地ハ捨受ナリシカ
 ルニイマ淨土無爲ノサカヒニテヒテナンソ樂ヲキハムトイハンヤモ
 シ樂ヲキハムトイハ、カヘリテ有漏ノ果報ニ同スヘキナヤ 二問答
 四 初明極樂名義ニ 初問 是ハ廣ク名義相應ノ徳ヲ述ルニ正
 明問答ノ二段ト分レタル中ノ第二科ナリ先第一問答ハ上ニ極樂ノ
 言度々出ルヲ以テ其名義ヲ明シタマフナリ 問ノ意ハ苦樂ハ相對
 ノ法ナレハ樂アレハ必ス苦アリ 無苦無樂ヲ勝レタリトスヘシ故
 ニ此鈔ハ引用ノ涅槃經ニハ有大樂故名大涅槃乃至無苦無樂名

大樂トアリ然ルニ彌陀ノ淨土ヲ極樂々々ト云ハ、反リテ有漏ノ
 果報ニ同スヘシト云意ナリ 苦ハスナハナ樂ノヨルトコロ等トハ
 老子ノ禍兮福之所倚福兮禍之所伏トアル語勢ニ依リテ苦ト樂ト
 ハ互ニ相倚ルト云コトヲ明シタマフ 其體ヲタツヌルニ實體ナシ
 トハ苦樂ハ相對ノ法ナレハ分位假ニシテ實體ナシト示ス 苦ニア
 ラス樂ニアラサルヲ捨受トナツケテ樂受ヨリハマサレリトハ俱舍
 唯識ニ苦樂捨ノ三受ヲ明スニ不苦不樂ノ中容ノ受ヲ捨受トス此三
 受ノ中捨受ノ勝レタルコトハ色界四禪天ノ中三禪天マテハ樂受相
 應ニシテ第四禪天ハ捨受相應ナルニテ知ルヘシ シカルニイマ淨
 土無爲ノサカヒニナヒテ等トハ文ノ如シ

答テイハク曇鸞和尙ノ註論ナミルニ樂有三種一者外樂謂五識所生樂
 二者內樂謂初禪二禪三禪意識所生樂三者法樂樂謂智慧所生樂此智慧

所生樂從愛佛功德起トイヘリ 二答二 初引文 論註下ニナノ文ナ
 リ

コノナカニ外樂トイヘルハ欲界ノ樂ナリ 二釋意三 初釋外樂
 眼等ノ五識ノ色等ノ五境ニ對シテ樂受ヲ生スルヲ外樂ト云ナリ

內樂トイヘルハ色界三禪ノ樂ナリ 第四禪ノ捨受ハ三禪ノ樂ヨリハイ
 サ、カスクレタレトモタ、三界ノウチノ勝劣ナルカユヘニ淨土ノ樂
 ニハコトナリ 二釋內樂二 初正釋內樂 第六意識ハ内外ニ對シ
 テ起ルトイヘトモ五識ノ外境ノミニ對シテ起ルニ簡シテ意識所生
 ノ樂受ヲ內樂ト云ナリ

サレハ善導和尙三界ノ苦樂ヲ釋セラル、トキ苦則三塗八難等樂則人
 天五欲放逸繫縛等樂雖言是樂然是大苦必竟無有一念眞實樂也トイヘ
 リ三界ノウチノ樂ハマコトノ樂ニハアラサルナリ 二引文結成 是

ハ定善義^三ノ文ナリ 三界ノ中ニ於テ相對スレハ苦樂アリトイヘ
トモ凡ヘテ有漏ノ境界ナレハ眞實不壞ノ樂ナシ三界皆苦トノタマ
ヘルモ宜哉

法樂トイヘルハ念佛ノ行者ニツイテイヘハイマタ穢土ニアリテ凡身
ナステサレトモ内ニ智慧ト相應シテ虚偽ナラス顛倒ナラスイハンヤ
淨土ニシテウクルトコロノ樂ハ法性ニ隨順セル眞實無爲ノ樂ナリ

三釋法樂一 初正釋 法樂トハ正シクハ淨土ノ樂ノコトナレト
モ因果不離ナレハ今且ク此界ノ念佛行者ニ就テ法樂ノ相ヲ明シタ
マフ 内ニ智慧ト相應シテトハ念佛行者ノ心内ニ彌陀廻向ノ信心
ノ智慧ト相應スルコトナリ虚偽ナラス顛倒ナラストハ論註上^六眞
實功德ヲ釋シテ是法不顛倒不虛偽トアリ イハンヤ淨土ニシテ
ウクルトコロノ樂ハ法性ニ隨順セル眞實無爲ノ樂ナリトハ論註上

^九此淨土隨順法性不乖法本トアリ極樂無爲涅槃界ナレハ淨土ノ
徳トシテ得ル法樂ナリ

大經ニハ但有自然快樂之音是故其國名曰安樂トイヒ阿彌陀經ニハ但
受諸樂故名極樂トトキ論ニハ受樂常無間トモ判シ觸者生勝樂トモ讚
スルハミナユノ樂ナリコレヲ釋ニハアルヒハ法性ノ常樂トモイヒア
ルヒハ寂靜無爲ノ樂トモイヘリ 二引證一 初引經論釋證 大經
ノ文ハ寶池ノ水音ヲ結嘆シテ安樂ノ名ヲ釋スル文ナリ 阿彌陀經
ノ文ハ舍利弗ノ問ニ應シテ世尊自ラ極樂ノ名義ヲ答ヘタマフ文ナ
リ 淨土論二文ノ中初ノ文ハ依報十七種ノ中第十五無諸難功德ノ
文ナリ後ノ文ハ同第七觸功德ノ文ナリ 次ニ善導大師ノ釋二文ヲ
引ク中法性ノ常樂トハ立義分^三ノ文ナリ 寂靜無爲ノ樂トハ定善
義^七ノ文ナリ

コレスナハナ涅槃經ニイフトコロノ涅槃ノ大樂ナリカノ經ニハ涅槃
 之性無苦無樂是故涅槃名爲大樂トイヘリ 二明同涅槃說二 初引
 文 カノ經トハ北本涅槃二十三^ハ南本涅槃二十一^五ノ文ナリ
 涅槃ノ樂ト淨土ノ樂トヒトツナリトハナニナモテカシルトイフニ
 二通疑二 初學難 問難ノ意知ルヘシ
 彌陀ノ妙果ヲ號シテ無上涅槃トイフトモイヒ極樂ハ無爲涅槃ノ界ナ
 リトモ釋スルカユヘナリ 二通釋四 初正釋疑難 此下二文ヲ引
 キタマフ初ノ文ハ法事讚下^ハノ文ナリ後ノ文ハ同下^ニノ文ナリ
 サキニイフカコトク衆生ハ樂ヲチカフコ、ロアルカユヘニ極樂ノ名
 アレハカレヲチカフコ、ロアルヘシ 二指前所明二 初正明 是
 ハ此鈔^三ノ所明ヲ承ケテ明シタマフナリ
 願生何意切正爲樂無窮トイヘルハユノコ、ロナリ 二引例 是ハ禮

讚三十ノ文ナリ

快樂ノタメニキ、テチカヒチカヒテカノ生因ヲタツチタツチテ念佛
 ニ歸シテ淨土ニ生シ生シヌレハ無生ヲ證シ涅槃ノサトリヲヒラクカ
 ユヘニカノサトリニカナヒヌレハ無苦無樂ノクラ井ニイタルスナハ
 ナコレヲ大樂トナツクルナリ 三展轉釋成 涅槃ノ快樂ヲ得ンカ爲
 ニ淨土ノ樂ヲ聞キテ願生心ヲ發シ而シテ彼ノ往生ノ正因ヲ尋チテ
 念佛ニ歸シ念佛ニ歸シテ往生スレハ無生ノ理ヲ證シ涅槃ノ悟リヲ
 開クカ故ニ無苦無樂ノ大樂ヲ得ルナリ
 大樂ト極樂トソノ義コ、オナシ 四結二名同 知ルヘシ
 問テイハク衆生モ無量壽ノナカヨリイテ、カヘリテ無量壽ノ佛智ニ
 歸入スヘシトイヒ三界六道ノ苦樂ヲハナレテ涅槃大樂ノ理ヲキハム
 ヘシトイハ、イフトコロノ義門ハ聖道門ノ所談ニニタリ愚暗ノトモ

カラタヤスクシリカタシシラスハ往生ヲトクヘカラストイフヘシヤ
二明證理差別一 初問 是ハ前來ノ所明ヲ承ケテ疑誰ヲ發シ
タルモノニテ上ニ明ストコロ其義門聖道門ノ所談ニ似タリ愚暗ノ
凡夫容易ニ知り難シ之ヲ知ラス往生スヘカラサルヤ如何ト云問ノ
意ナリ

コダヘテイハク一切衆生悉有佛性トイヒ心佛及衆生是三無差別トイ
ヘルトモニ經文ナリタレカコレヲ信セサラン 二答一 初學聖道
所談ニ此界ニ於テ涅槃ノ妙理ヲ證得スル聖道ノ法門ヲ明スニ涅槃
ト華嚴ノ二文ヲ出タセリ 一切衆生悉有佛性トハ北本涅槃二十七
南本涅槃二十五^三ノ文ナリ佛性トハ眞如法性ノコトナリ此佛性
ヲ開覺スルヲ涅槃ノ妙果トス 心佛及衆生是三無差別トハ舊華嚴
十一^十ノ文ナリ此文ヲ解スルニ付キ天台ト華嚴ト其義差別アレト

モ且ク華嚴家ノ意ニ依ラハ心ヲ總相トシ佛ト衆生ヲ別相トシテコ
ノ心迷ヘハ衆生トナリ悟レハ佛トナレトモ其體同一ニシテ更ニ差
別ナレソノ心トハ一心ニテ其體眞理ナリト談スルナリ
サレトモ聖道ハワレト心性ノ源底ヲ觀達シテ即身ニコノ理チアキラ
メントシ淨土門ニハ但以垢障覆深淨體無由顯照トイヒテ無明煩惱ニ
ヒサシクオホハレタル衆生ハコ、ニシテカノ佛性チアラハシカダキ
カユヘニソノ機ノタメニマウケタマヘル彌陀ノ教チレハカノ佛智ニ
乗シテ極樂ニ往生シカシニコニシテソノ佛性チアテハスヘシト談スル
ナリ 二明ニ門差別一 初正明差別 心性ノ源底トハ決智鈔ノ初
ニ心性ノ妙理トアリ心性トハ起信論ニ心性不生不滅トアリコノ心
性トハ眞心ノ自性ニシテ妄心ニ非ス是レ眞如ノ理性ニシテ堅實心
ナリ緣慮心ニ非ス性トハ體性ノ義不改ノ義ナリ 源底トハ眞理ハ

萬有ノ本源トナルカ故ナリ此心性ヲ具スルコト一切衆生同一ナレ
トモ聖道門ニテハ此界ニテ自力ヲ以テ此心性ノ源底ヲ觀達シテ即
身ニ此妙理ヲ證リ明ラメントシ淨土門ニテハ惑染ノ凡夫ハ煩惱ニ
覆ハル、ヲ以テ此土ニテ佛性ヲ顯シ難キカ故ニ他力ニ乘シテ彼土
ニ往生シテ佛性ヲ顯スヘシト談スルナリ 但以垢障覆深等トハ立
義分ニノ文ナリ 垢障トハ煩惱障ナリ 淨體トハ自性清淨ノ本體
ニシテ佛性眞如ノコトナリ是ハ眞佛土卷ニ惑染衆生於此不能見
性所覆煩惱故トアル意ナリ其餘ノ文ハ解シ易シ

タ、南無阿彌陀佛トトナフルハ往生ノ正業ナルカユヘニコノ名號ノ
ナカニ光明壽命ノ無量ナル德ヲソナヘテサマシクニ利益ヲホトコシ
衆生コレニヨリテ涅槃ヲウル德ノアルコトヲシメスハカリナリ 二
顯名號勝德一 初正顯三 初明名號具德 是ハ問ノ言ニ愚暗ノ

輩シラスハ往生ヲトクヘカラストイフヘシヤトアルニ應スル一段
ニテ名號ノ中ニ光壽無量ノ德ヲ具足シ種々ニ利益ヲ施シ衆生之ニ
由リテ涅槃ノ妙果ヲ得ル德ノアルコトヲ示スノミ愚暗ノ衆生之ヲ
知ラスハ往生ヲ得ヘカラスト云ニハ非スト示ス意ナリ

サレハトテユ、ニシテ佛性常住ノ妙理ヲサトリ即身ニ生佛一體ノ觀
解ヲナセトス、ムルニハアラスシルモシラヌモ往生ノタメニハサハ
リトモナラスタ子トモナラス 二示非此土證理一 名號ニハ無量ノ
德ヲ具スルトイヘトモ聖道門所談ノ如ク此土ニシテ佛性ヲ開覺シ
現身ニ於テ生佛一體ノ觀解ヲナセト勸ムルニハ非ス生佛一體トハ
生佛一如ト云カ如ク迷ヒノ衆生モ悟リノ佛モ其體同一ノ眞如ト云
コトニテ清水濁水トモニ其體ハ同一ノ濕性ナリト云カ如シ シル
モシラヌモ往生ノタメニハサハリトモナラスタ子トモナラストハ

此生佛一如ノ理ヲ知ルモ知ラヌモ往生ノ障トモナラス知リタリトモ往生ノ因トモナラスト云コトナリ

タ、佛智ノ不思議ヲ信シ他力ノ名號ニ歸シテユ、ロヲ餘教ノ出離ニカケス一行一心ニユレテ信行スレハカノ名號ハ圓融至德ノ嘉號法身同體ノ功德ナルユヘニシラサルニ法性ノ深奥ヲ觀達スル義アリテスミヤカニ極樂ノ往生ヲトケ無始ノ迷妄ヲヒルカヘシテ彌陀ノ本家ニカヘリ無生ノ理ヲサトルナリ 三顯生後證理 一タ、佛智ノ不思議ヲ信シ等トハ淨土往生ノ因行ヲ示スカノ名號ハ圓融至德ノ嘉號トハ廣本ノ總序ノ言ヲ用ヒタマフ 法身同體ノ功德ト云ハ眞如一寶ノ功德ト云ニ同シ法身トハ眞如ノ異名ナリ同體ト云ハ迷悟トモニ法身ハ同體ニシテ不増不減ナルカ故ナリ シカラサルニ法性ノ深奥ヲ觀達スル義アリ等トハ名號ノ中ニハ眞如過恒沙ノ德ヲ具スルカ

故ニ名號ヲ信行スレハ知ラサルニ自ラ眞如法性ノ深奥ノ理ヲ觀達スル義アリテ速ニ極樂ノ往生ヲ遂ケ無始ノ迷妄ヲ翻シテ彌陀ノ本家ニ還リ無生ノ眞理ヲ證ルナリ禮讚ハ二十努力翻迷還本家トアルニ同シキナリ

コレスナハナ他力ノ不思議ナリ 二結成 具足煩惱ノ凡夫彌陀ノ淨土ニ往生シテ佛性眞如ノ妙理ヲ證リ顯スハ彌陀他力ノ不思議ノ所爲ナリト結成シタマフナリ

問テイハク衆生ト佛トモトヨリ一體ナリサレハ自心ヲハナレテ佛道ヲモトムヘカラスナンソ他力ヲカルヘキヤソモ、他力トイフハイカヤウニユ、ロウヘキコトソヤ 三明他力證理 一初問 是ハ上ノ所明ヲ承ケテ發問セリ上ニ明スカ如ク生佛一體ノ眞如ナレハ自心ヲ離レテ外ニ佛道ヲ求ムヘキニ非ス佛道トハ佛果ニ至ル因道ナ

リ他力ヲ籍リテ佛道ヲ求ムルニ及フヘカラス又他力ト云ハ何ナル
コトソト此問難二段アルコト知ルヘシ

コタヘテイハク萬法シカシナカラ心ヲハナレス心モトヨリ佛ナルコ
トハシカナリ 一答二 初標心性本來佛 是ハ上ニ引キタル華嚴
經ノ三法無差別ノ文ノ意ナリ 萬法シカシナカフ心ヲハナレスト
ハ華嚴經ノ萬法唯心ノ義ニテ心性本來佛ナリト云コトハ必然ナリ
ト云コトナリ

サレトモコノ心法ニテヒテサトレルノナリ佛トイヒマヨヘルホトナ
衆生トイフ 二明迷悟生佛別 一 直明 二 初法 心佛衆生ノ三法
其體無差別ナリトイヘトモ心法ニ於テ悟レルヲ佛トシ迷ヘルヲ衆
生ト云ト示シタマフ

玉ノ性ハオナシケレトモミカクトミカ、サルトニヨリテ實トモナリ

石ニモオナシキカコトシ 二譬 此譬知リ易シ

コレニヨリテ佛ハ萬行ノ薰修ニユダヘテヨク佛性ノタマナミカキタ
マヘリ衆生ハヒサシク生死ノ泥ニシツミテカノタマナケカセリカル
カユヘニ生佛アヒヘタ、リテ迷悟サカヒナワカテリ 二示由 一 初
通示迷悟差別 一 生佛トモ同一ノ眞如法性ノ玉ヲ具ヘ乍ラ迷悟ノ
別アル所以ハ佛ハ因位ニ萬行ノ薰修力ニ由リテ佛性ノ玉ヲ磨キ顯
シ衆生ハ生死ノ泥中ニ沈ミテ佛性ノ玉ヲ汚セリ故ニ生佛迷悟ノ差
別ヲナスニ至レルナリ

シカルアヒタマトヘル凡夫ワレトサトリカタキユヘニサトリニガナ
ヘル佛智ニ歸スレハカノテカラヲモテモトヨリ法性ヲハナレサリケ
ル自心ノ佛性ヲアラハスナリ 二別明他力證理 一 初正明他力證
理 一 吾等凡夫固ヨリ佛性ノ玉ヲ具セリトイヘトモ迷妄ノ衆生自力

ニテハ證リ難キカ故ニ法性ノ眞理ニ契ヘル彌陀ノ佛智ニ歸スレハ
佛智他方ヲ以テ法性ヲ離レサル本來自心所具ノ佛性ヲ證リ顯スナ
リ

彌陀ノ本願ノヲコリ他方往生ノミナソノコ、ロコレニアリ。二示佛
願生起由。彌陀因位ノ本願ノ生起他方往生ノ道ハ此土入聖ニ堪ヘ
サル凡惑ヲシテ他方ヲ以テ彼土ニテ佛性ヲ證顯令メンカ爲ナリ
無始曠劫ヨリコノカダコ、ロニ三毒ノ煩惱ヲタクハハ六道輪廻ノア
ヒタ身ニ十惡ノ業因ヲツメリシカリトイヘトモ煩惱ヲモ斷セス罪障
ヲモ滅セス身ニナロテ淨不淨ヲ論セス念ニナヒテ善惡ヲイハスタ、
凡夫攝取ノ佛力ヲタノミテ念佛ノ一行ヲ修シヒトヘニ佛願難思ノ強
緣ニ託シテ西方ノ往生ヲトクルナリ。三明佛願難思相二。初直示
其相。無始以來惑業ニ纏縛セラレタル凡夫煩惱惡業ヲ斷セス身ノ

淨穢心ノ善惡ヲ論セス凡夫ヲ本トシタマヘル彌陀ノ佛力ヲタノミ
念佛ノ一行ヲ修シ佛願ノ強緣ニ託シテ西方往生ヲ遂ルノ外出離生
死ノ道ハナシト示シタマフ佛願難思ノ強緣ニ託スルトハ玄義分十二
正由託佛願以作強緣ノ意ナリ

コレスナハチ名號ニ不思議ノ徳アルカユヘニコノ益ヲエシムルナリ
二顯名號徳二。初結前生後是ハ上ノ段ヲ結成シ下ノ所明ヲ引

起ス文ナリ

ソノ不思議トイフハ明ヨク闇ヲ破シ空ヨク有ヲフクミ地ヨク載養シ
水ヨク生潤シ火ヨク成壞スルカコトシ世間待對ノ法ミナカクノコト
キノ徳用アリコレ法爾ノ道理ナリイハンヤ佛法不思議ノナカラ凡夫
ヲシテ往生ヲトケシメンコトコレヲウタカフヘカラス。二示不思議

相二。初正明他方不思議三。初正示其相。此明ヨク闇ヲ破シ等

トハ五喻アリ是ハ佛教ニ無量ノ門アリトイヘトモ機ニ應スレハ其益虛シカラサルコトヲ示ス愚禿鈔下六此五喻ニ一河ヲ加ヘテ六譬ト名ケテアリ 明ヨク闇ヲ破ストハ日月燈火ノ黑闇ヲ除クコトナリ 空ヨク有ヲフクミトハ虚空ノ萬有ヲ含容スルコトナリ 地ヨク載養シトハ大地ノ萬物ヲ載セテ養成スルコトナリ 水ヨク生潤シトハ水ノ草木等ヲ生長シ滋潤スルコトナリ 火ヨク成壞スルトハ火ノ萬物ヲ成熟シ壞滅スルコトナリ 世間待對ノ法トハ明ハ闇ニ對シ空ハ有ニ對スル等ナリ 法爾ノ道理トハ末燈鈔ノ自然法爾章ニ出テタルカ如ク法爾ト云ハ法ノ徳トシテ爾ヲシムト云コト是モ聖道門ノ法爾ハ眞如法性ナリ淨土眞宗ノ法爾ハ本願他力ナリ委シクハ末燈鈔略述ニ黑谷傳ノ言ヲ引テ辨シタルカ如シ イハンヤ佛法不思議ノチカラ等トハ散善義ニハ佛法不思議ヲハ總シテアラ

ユル佛法ニカケテ明シテアレトモ此鈔ハ別シテ凡夫攝取ノ彌陀ノ名號ニ約シテ示シタマフナリ 滅罪ノ徳アレハ重罪ノ惡人ナレトモ生死ヲハナレ生善ノ徳アレハ無善ノ凡夫ナレトモ往生ヲウルナリコレヲ他力トイフナリ 二示得生由 名號ニ滅罪生善ノ徳アリト云コトハ行卷ニ廣ク他師ノ釋ヲ引キタマフカ如シ廣本ノ總序ニハ圓融至徳嘉號轉惡成徳正智トアリ知ルヘシ

コレヲ他力トイフナリ 三結歸他力 聖教ノチカニ念佛ノ功能ヲアカシ他力ノ不思議ヲアラハスニオホクノダトヘナイタセリイマ少々コレヲアクヘシ 二學譬示念佛功能 二 初總標 是ハ論註及ヒ安樂集ニ依リテ念佛ノ功能他力不思議ヲ顯スニ五種ノ譬喩ヲ出シタマフ其總標ノ文ナリ

一ニハ千年ノアヒタタテユメテクラカラントコロニ日ノヒカリシハ
ラクイタラハヒサシカリツルヤミスナハナサリテアキラカナルコト
ナウヘシクラキユトハ千年ナリ日ノヒカリハワツカナルトキノホト
ナレハトテソノヤミサラサルコトアランヤ 二別明二 初學五種譬
喻五 初千歲闇室喻二 初學譬コノ喩ハ論註上^三安樂集上^五
ニ出ル

念佛モマダカクノコトシ衆生無始ヨリコノカタ無明ノヤミニオホハ
レテ罪障ヲ身ニソナヘタルコトハ千年ノヤミノコトシシカレトモ一
稱一念ノ功ハカノ片時ノ日ノヒカリノコトクニテ衆生ノ癡闇ヲソ
キ往生ヲエシムルナリ 二合法 愚癡無明ト罪障ヲ闇ニ喩ヘ一稱一
念ノ功ヲ日光ニ喩ヘタルモノナリ 一稱一念トハ一聲稱念ノ念佛
ナリ

一ニハ人アリテ毒ノ箭ニイラル、トキ箭フカシ毒アツカラシニモシ
ヒトタモ滅除藥ノツ、ミノコエナキケハ毒ノ箭スナハナノソコル滅
除藥ノツ、ミトイフハイクサノ陣ニムカフトキ毒ヲヌク藥ヲモテツ
、ミニヌリテモツナリカノツ、ミノコエナキクトイフトモ毒ノ箭フ
カクイリタレハトテヌケシトイフコトアランヤ 二滅除藥喩二 初
學譬コノ喩ハ論註上^三安樂集上^六ニ出ル

毒ノ箭トイフハ衆生ノ罪惡ナリカノ鼓ハ彌陀ノ名號ナリ無始三毒ノ
毒フカク身ノウチニイリタリトイヘトモ名號滅罪ノツ、ミナキケハ
罪毒スナハナノソコルナリ 二合法 文ノ如シ
一ニハメクリ十圍アランフトキナハナ千人トリツキテヒキキラント
センニキルヘカラスシカルニオサナキモノ一人ツルキチモテユレナ
キラハスナハナフダツニナランカコトシ 三童子斷索喩二 初學譬

コノ喩ハ安樂集上^二七喩ノ中ノ第五喩ナリ

煩惱業繫ノキツナツヨクムズホ、レテダヤスクキレカタキカユヘニ
カノナハニ千人トリツキタルカコトク諸善諸行ヲモテ不善ノ心ノウ
ヘニ行スレハソノナカラカナハサレトモ一念名號ノ利劍ヲモテコレ
ヲキルニサラニキレストイフニトナシ 二合法 合法ノ文知ルヘシ
一念名號ノ利劍トハ般舟讚^三利劍卽是彌陀號一聲稱念罪皆除ト
アルカ如シ

一ニハアシナヘタルモノモフ子ニノリヌレハフ子ノナカラニヨリ風
ノ縁ニヨリテ一日ニ數千里ノミナサスクアシハヤキヒトノナカラヲ
ハケマシテユクニマサレリ 四覺者乘船喩二 初覺譬コノ喩ハ安樂
集上^二七喩ノ中ノ第二喩ナリ

行業ノアシオレタルモノモ智慧ノマナコシ井タルモノモ大願ノフ子

ニ乗シヌレハ頓ニ生死ノ大海ヲワタリテ自力ノモロクノ行業ヲハ
ケム人ヨリモハヤク菩提ノ岸ニイタルカユヘニ念佛ハ頓教ナリ 二

合法 文ノ意解シ易シ

一ニハイヤシキ劣夫ノ驢ニノルコトタニモナケレハ地ヲハナレテア
ユムヘキナカラナケレトモ轉輪王ノミユキニシタカヒヌレハ虚空ニ
カケリテ自在ナリ 五劣夫跨驢喩二 初覺譬 コノ喩ハ論註下

三⁺安樂集上^二七喩ノ中ノ第四喩ナリ

常没底下ノ凡夫六道四生ノ地ヲハナレテ法性ノ虚空ニカケルヘカラ
ストイヘトモ彌陀法王ノナカラニヒカレテ淨土ニイタルナリ自力ノ
行ヲモテ生死ヲハナル、コトカナハサレトモ他力ノ縁ニヨリテ往生
ヲトクルコトコレヲノダトヘニテシリヌヘシ 二合法 文ノ如ク知
ルヘシ

マダ鳩トイフ毒鳥水ニイリヌレハソノナカノ魚類コトク死スシ
カルニ犀角ヲモテコレニフルレハ死スルトコロノイロクツミナミ
カヘルコトアリマダ獅子ノスナチモテ琴ノ絃トシテヒトダヒコレナ
ヒクニ餘ノ一切ノ絃コトククミナタユルコトアリ 二更學_レ諭 勸
信_二 初學_レ諭_二 初正學 此下ノ二諭初ノ鳩鳥ノ諭ハ論註上_九
安樂集上_五十七諭ノ中第六諭ナリ 後ノ獅子弦ノ諭ハ安樂集上_六
ニ出ル諭ノ意知リ易シ

世間ノ法ニチヒテナチカクノコトキ事アリマシテ五不思議ノナカニ
ハ佛法コトニ不思議ナリ衆生ノ罪業オモシトイヘトモ佛力コレヲ對
治スル能アリ凡夫ノオロカナルコ、ロチモテ佛ノ利生チウダカフヘ
カラス 二反顯_二 初正反顯佛力 世間ノ法トハ上ニ學ル鳩鳥
及獅子弦ノ諭チ指ス マシテ五不思議ノナカ等ト佛法不思議ノ力

ノ勝レタルコトチ反顯シ而シテ其佛法不思議チ彌陀ノ佛力ニ結歸
シタマフナリ

五不思議トイフハ一ニハ衆生多少不可思議二ニハ業力不可思議三ニ
ハ龍力不可思議四ニハ禪定力不可思議五ニハ佛法力不可思議ナリ

二釋_二 五不思議 上ノ段ニ五不思議トアル其名目チ列チタマフ此
五不思議ノ名目ハ論註下_五ニ出ル其モトハ智論三十_六ニ出ルコ
トナリ

ステニ不可思議トイフナンソ是非ノ思議チイタサンヤタ、フタコ、
ロチク佛智ノ不思議チタノミフカク智識ノオシヘチマコトト信シテ
一分モワカハカフヒチクハヘス無疑無慮ニナリカヘルチモテ他力ニ
乘スルスカタトス 二勸信_二 初示乘_二 他力_二 相_二 初正明 他力ニ
乘スルト云ハ論註下_三十聞_二 他力可乘_二 當生信心_二 トアリ 是ハ佛

力ノ不可思議ヲ信スルコトナレハ是非ノ思量ヲ致スヘキニ非ス自
力ノ計ヒテ止メテ佛智ノ不思議ヲタノミ知識ノ教ヲ信シテ疑ヒノ
ナキヲ他力ニ乘スル相トスルナリ

コレヲ一向專修ノ人トナツケコレヲ決定往生ノ機トス 二結成

カヤウニ安心シナハ今生ヲハカリノヤトリトオモヒナシテコレカダ
メニ執著ヲナスコトナク後世ヲハ永生ノ樂果トオモヒテソレカダメ
ニハ身財ヲモオシムヘカラス佛願ヲ信スルコ、ロマコトアレハ稱名
モヲヨダラス稱名ヲコダラサレハ信心モイヨク增長ス行者ニ欣求
淨土ノ願アリ稱名念佛ノ行アリ如來ニ攝取不捨ノ益アリ凡夫引接ノ
願アリ願行アヒタスケ機感相應シテニトタヒ歸命スルモノハヨコサ
マニ生死ヲコエフカク信行スルモノハスミヤカニ往生ヲウルナリ
二明安心定得 カヤウニ安心シナハトハ上ノ他力ニ乘スル相ヲ

明ス一段ヲ承ケタマフ 今生ヲカリノヤトリトオモナシ等トハ他
力ノ安心決定ノ上ニハ厭離ノ心ヲ生スヘキコトヲ示シタマフ單ニ厭
離ヲ勸メタマフニハ非ス略本ニ受行最勝弘誓而捨機忻淨トアリ
之ヲ淨土見聞集^叶マコトニ信心ヒトタヒ發起セシメタマヒヌレハ
ナシヘサレトモ穢土ハイトヒヌヘントアリ是レ娑婆執著ノ深キ凡
夫ナレハ穢土ヲ厭ヘト勸ムトモ厭フ心アルヘカラス然ルニ他力ノ
信心ヲ發得スレハ信心ノ作用トシテ自ラ厭離ノ心ヲ生スルナリ之
ヲ聖人ハ大信心ハ忻淨厭穢ノ妙術ト仰セラレタリ 佛願ヲ信スル
コ、ロアレハ稱名モヲコダラス等トハ他力ノ信心ヲ本トシテ展轉
釋成シタマフナリ 初ハ信行行信互ニ相成スルコトヲ明ス 次ニ
行者ニ欣求淨土ノ願アリ等トハ行者ノ願行ト如來ノ因果ニ力ト相
成スルコトヲ明シタマフ 欣求淨土ノ願トハ六字釋ノ發願廻向ヲ

機ニ約スル義ナリ稱名念佛ノ行トハ阿彌陀佛卽是其行ナリ之ヲ次ニ承ケテ願行アヒタスケト云フ此言ハ玄義分ヒ願行相扶所爲皆尅トアリ 如來ニ攝取不捨ノ益アリトハ果力ナリ凡夫引接ノ願アリトハ因力ナリ此因果二力ハ願行相扶ノ行者ノ機感ニ相應スルカユヘニ之ヲ承ケテ機感相應シテトノタマフ ヒトタヒ歸命スルモノハヨコマサニ生死ヲユエ等トハ他力ノ信行ノ利益ヲ明ス ヨコサマニ生死ヲユエトハ信卷ニ世ス横趣斷ノ利益正信偈ノ卽横超截五惡趣ノ意ナリ ヒトタヒ歸命スルトハ行卷ニ十方群生海歸命斯行信トアリ フカク信行スルモノハスミヤカニ往生ヲウルナリトハ信卷ニ由斯信行必可超證大涅槃トアリ 往生卽成佛ナルカ故ニ大涅槃ヲ證スルト往生ヲウルト同一ナリ 問テイハク佛道ヲ行シテ菩提ヲモトムルハ生死ヲハナレンカタメナ

リシカルニ往生ヲ願スルハナヲ生ヲモトムルニアラスヤコレ妄見ナリ如何 四明ニ生卽無生ニ 初問 是ハ前來シハハ願生淨土ノ法門ヲ明セシニヨリ願生ニ就テノ疑難ヲ通シテ生卽無生ノ往生ナルコトヲ明ス一問答ナリ此問答ハ論註ノ意ヲ得テ明シタマフコト知ルヘシ此間ハ論註下疑言生爲有本衆累之元棄生願生生何可盡トアリ是ハ願生安樂國ノ意ヲ釋スルニ就テノ問ナリ今ノ問ノ意ハ佛道修行シテ菩提ヲ求ムルハ生死ヲ出離センカ爲ナリ然ルニ淨土ノ往生ヲ願スルハ迷ヒノ生ヲ求ムルニ非スヤ是レ凡夫ノ妄見ナルヘシ如何ト云意ナリ

コタヘテイハク龍樹菩薩ハ易行ノ道ナス、メテ便得往生彼清淨土トイヒ天親菩薩ハ五念門ノ行ヲアカシテ願生安樂國ト判セリ 二答二初明願淨淨土三 初引證示願生義 龍樹菩薩ハ易行ノ道ナス

、メテ等トハ論註ノ初ニ龍樹菩薩ノ十住毘婆沙ヲ引テ難易二道ヲ明ス下ノ文ナリ本論ノ文ニハ非ス 天親菩薩ハ五念門ノ行ヲアカシテ等トハ知ルヘシ

ソレヨリ以下三國ノ祖師諸宗ノ高僧ミナ往生ヲ願ス 二明先賢願生ニ 初正明 三國ノ祖師トハ龍天以下黑谷マテナリ諸宗ノ高僧トハ天台ノ智者華嚴ノ杜順法相ノ慈恩律宗ノ元照等ナリ ミナ往生ヲ願ストハ知ルヘシ

モシ淨土ニユクトイフトモ生死ヲハナレサル義アラハカクノコトキノ深位ノ大士高行ノ智德ナンソ往生ヲ願セン 二反顯 反顯ノ意ハ是クノ如ク自他宗ノ祖師高僧往生ヲ願スルカラハ淨土ニ往生スレハ生死ヲ出離スルコト勿論ナリト云意ナリ

末代無智ノ道俗タ、如來ノ說ヲ信シ先賢ノアトヲシタヒテヒトヘニ

念佛ヲ修シモハラ往生ヲ願スヘシアヘテ疑謗ニナユフヘカラサルモノナリ 三勸末代願生 賢ヲ見テハ齊シカラシコトヲ思ヘト云カ如ク末代ノ道俗先賢ノ蹤ヲ慕ヒテ往生ヲ願スヘシ往生淨土ノ法明ヲ疑謗スヘカラスト云意ナリ信卷ニ律宗ノ元照律師ノ嗚呼明教觀孰如智者乎等ノ勸發ノ文ヲ引テアリ併セ讀ムヘシ

タ、シシ井テユノ義ヲアキラメントオモハ、鸞師ノ論註ヲミルヘシ 二示生即無生ニ 初標 コノ義トハ淨土ノ往生ヲ願ストイヘトモ生死ヲ出離スルノ義ナリ

カノ釋ニコノコトヲ判スルニアルヒハ非如凡夫謂有實衆生實生死トイヒアルヒハ彼淨土是阿彌陀如來清淨本願無生之生非如三有虛妄生也何以言之夫法性清淨畢竟無生言生者是得生者之情耳トイヘリ 二釋ニ 初引文 此下二文ヲ引キタマフ初ノ非如凡夫等ノ文ハ論註

上^五願生ノ義ヲ明スニ付キ問答アリ其答ノ中ニ出ル言ナリ淨土ノ往生ハ因縁ノ義ニシテ假名ノ生ナリ假名ノ生ナレハ生即無生ナリ故ニ凡夫ノ實ノ衆生實ノ生死アリト思フカ如キ情謂ノ所見ニ異ナレリト示ス意ナリ 次ノ彼淨土是等ノ文ハ論註下^四ノ文ナリ 是ハ彌陀ノ淨土ハ生ト云トモ無生ノ生ナルコトヲ示ス 清淨本願トハ彌陀ノ淨土ハ彌陀因位ノ清淨本願ノ所成ナルコトヲ示ス 無生ノ生トハ無生無滅ノ法性ノ眞理ニ隨順シテ現起シタル生ナリ故ニ三界有漏ノ生ト異ナレリト示ス 何以言之トハ何ナ以テカ無生ノ生ト云ヤト徵起スル意ナリ 其レヲ答ヘテ無生ト云ハ眞如ノ理ナリ眞如法性ハ本來自性清淨ニシテ畢竟生起ノ義ナレ故ニ生トイヘトモ其體無生ナリ故ニ願生ト云ハ往生ヲ得ル者ノ情謂ノ上ニアルノミト云意ナリ

サレハ往生トイフハ凡夫ノ情量ニオホセテコレナイフコトハナリ實ノ生死ニハアラサルナリ 二釋成二 初略示 次上所引ノ文ノ意ヲ略シテ示シタマフ オホセテトハ徒然大成十一^九課ハオホストヨメリソノ所作ヲシオホスルヲ云トアリ日課ノ課ノ字ノ如シ凡夫ノ情量ニモダセルコトナリ 他力ノ本願ニ乘シ無生ノ名號ヲ稱シテ一乘清淨ノ土ニ往生スレハカノ土ハコレ法性無性ノサカヒナルカユヘニ凡情ニハ生ストオモヘハ自然ニ無生ノ理ニカナフナリコレヲノ義クハシクカノ釋ニミエタリ 二明由 淨土ノ往生ヲ無生ノ生ト名クル理由ヲ明シタマフ 他力ノ本願ニ乘シトハ他力ノ本願ニ乘託スルコトナリ 無生ノ名號ヲ稱シテトハ法性眞如ノ無生ノ理ニ契フタル名號ヲ稱フルコトナリ 一乘清淨ノ土ニ往生スレハトハ彌陀ノ淨土ニ往生スルコトニ

テ智論三十八ニ彌陀ノ淨土ヲ一乘清淨無量壽世界トアリカノ
土ハニレ法性無生ノサカヒ等トハ淨土ノ德ヲ明ス往生ヲ願スル凡情
ニ於テハ淨土ニ生スト思ヘトモ生シ巳レハ淨土ノ德トシテ自然ニ
無生ノ眞理ニ契當スルナリ此一段ハ論註下六氷上燃火ノ喩ノ意ヲ
以テ明シタマフ是ハ氷ノ上ニ火ヲ燃クニ火猛キトキハ氷解ク氷解
クレハ火滅スルト云喩ナリ之ヲ合法スルニ氷上トハ迷ノ生ニ喩ヘ
燃火トハ願生ノ心ニ喩フ火猛キトキハ決定心ノ堅固ニシテ若存若
亡ニ非サルニ喩フ氷解クトハ迷ノ生ヲ翻シテ無生ノ理ヲ證スルニ
喩フ氷解クルトキハ火滅ストハ迷ノ氷カ解ケテ淨土ノ法性ノ水ト
ナリタル所ニテ今マテ實ノ生アリト思フテ願フタル生ノ見ノ滅ス
ルニ喩フルナリ其義知ルヘシコレヲノ義クハシクカノ釋ニミエ
タリトハ上ニ述ル所ノ淨土ノ往生ハ無生ノ生ニテ凡夫ノ妄見ノ生

ニ非スト云コト彼論註ノ釋ニ見ヘタリト云コトナリ即チ論註上及
ヒ下ノ願生安樂ノ義ヲ釋スルトコロヲ指シタマフナリ

本云
依明光大德詔記之畢于時建武四年丁丑八月日也去春比令詔之間當年
備州在國之間所染筆也

此兩帖雖爲秘藏之書性順頻致望之間且哀信心之懇篤所令授與也
于時應永三十二年乙巳正月十三日終書寫之微功畢

陰土空覺判

上來略シテ此顯名鈔ヲ講シ了レリ

顯名鈔略述終

明治四十年七月二十五日發行

不許複製

著者 吉谷覺壽
 發行所 京都市下京區下珠數屋町
 東洞院西入橋町八番戸
 西村九郎右衛門

- 吉谷覺壽師著述目
- 三經往來文類略述 正價貳拾五錢郵稅貳錢
 - 尊號眞像銘文略述 正價參拾錢郵稅貳錢
 - 一念多念證文略述 正價貳拾五錢郵稅貳錢
 - 唯信鈔文意略述 正價貳拾五錢郵稅貳錢
 - 歎異鈔略述 正價貳拾五錢郵稅貳錢
 - 御消息集略述 正價貳拾錢郵稅貳錢
 - 末燈鈔略述 正價五拾錢郵稅四錢
 - 口傳鈔略述 正價五拾錢郵稅四錢
 - 改邪鈔略述 正價五拾錢郵稅四錢
 - 執持鈔略述 正價拾五錢郵稅貳錢
 - 本願鈔略述 正價拾五錢郵稅貳錢
 - 最要鈔略述 正價拾五錢郵稅貳錢
 - 願々鈔略述 正價拾五錢郵稅貳錢
 - 出世元意略述 正價拾五錢郵稅貳錢
 - 淨土眞要鈔略述 正價五拾錢郵稅四錢
 - 諸神本懷集略述 正價五拾錢郵稅四錢
 - 破邪顯正鈔略述 正價五拾錢郵稅四錢
 - 教行信證大意略述 正價貳拾五錢郵稅貳錢

講師 南條神興師述 和田敬山師校訂
 同講 吉谷覺壽師閱
 淨土文類聚鈔論草 全一冊

正價金三十錢 郵稅金四錢

此書ハ雲洞院南條講師三洲岡崎別院ニ於テ有志ノ求メニ應ジ畧典ノ中殊難關ヲレ
 處ト最ト樞要ヲ生ノトヲ撮摘シテ講セラレシモノナリ抑モ當畧本ノ疏釈東西兩派ニ巨
 リテ丹野シキコト突ニ汗牛充棟モ當ナラス然或ハ畧ニ或ハ廣ニ失シテ當ヲ得ルモノ稀
 レナリ中ニハ祖意ヲ失スルモノナリトセズ爰ニ南條講師之ヲ慨シ有志ノ請ヲ幸トシ
 ハ古今ノ錯リヲ匡シ一ハ初學ノ悲泣ヲ留メ以テ當書ノ微意ヲ顯シ上祖恩ノ深遠
 ニ報ヒ眞宗ノ光輝ヲ發揚セシト擬セリ并文藻ノ美言辭ノ麗ニシテ而シ義ニ至テハ
 本書ノ奥府ヲ得タリ余リ義豐ナリト雖モ初學ノ志士ヲレテ一讀能ク丹意ヲ得ルムル
 ニ足ル然トモ師之ヲ講セラレテヨリ以來多年懿底ニ秘シテ世ニ傳ルモノ尠シ今回本館
 訂者ノ盡カニヨリ當書ヲ得更ニ南條博士ノ承諾ヲ求メ教ニ上梓スルノ運ニ至レリ
 嗚呼眞宗ニ志ナクハ已ヤ若モ眞宗ノ宗意即門餘弘願ノ妙法ヲ知ラント欲セハ是非
 座ニ石ニ欠カカザルノ良書トハ宜ク購讀アルベシ

發行所

護法館

西村九郎右衛門

京都市下京區下珠數屋町東洞院西入橋町八番戸



